社会福祉法人　明光會　広報紙

あべのたより

2018
6

平成29年度事業報告
・平成30年度事業計画

目　　次

1　平成 29 年度事業報告　1

2　理事会・評議員会・監事監査の実施　10
平成 29 年度ご厚志を頂いた方々　11
平成 29 年度決算報告書　12

3　平成 30 年度事業計画　15

4　明光会特集　24

Since１９６０

社会福祉法人　明光會

■会長挨拶

早起きは三文の得（日本の諺）

「托卵」（NHK ダーウィンが来たより）と「福祉」の構築

社会福祉法人　明　光　会
会　長　　寺　田　亮　一

表題の「早起きは三文の得」は私が生れて初めて覚えた諺です。戦時中、東京から父の実家のある袋井市に母と二人で縁故疎開したのは私が4歳の時でした。農家の朝は早く、おまけに戦時中ですから、働き手は戦争に行っているので村に残っているのは女性、子供と年寄りだけです。父の実家とはいえ、祖父の家に親子で居候するわけですから4歳でも何か手伝いをしなければ居た堪れない空気を感じていました。野良仕事に行っている母に祖父や祖母からの伝言の連絡係りや、食事を運ぶなどの手伝いをしました。夏ともなると野良仕事は朝早くから始めないと、女性や年寄りや子供では体力が持ちません。早起きをすれば良いことがあると言い聞かせられていましたが、早起きをしても、辛いだけで特別良いことはありません。しかしあの頃はそうでもしなければ、私の立場がないことは幼いながらも分かっていました。だから三文というのは価値がない。やっても得がないとは考えませんでした。早起きをすると祖父も祖母も母も誉めてくれ、時々貴重品の干し芋をご褒美にもらったりしました。干し芋を母と分けあって食べた時は、これで居候の立場が良くなると思うと、無性に嬉しくなったものでした。やがて終戦になり、私が5歳の時、台湾から叔父の一家8名が帰国し、祖父の家に帰ってきました。叔父はこの家の長男で私の父は次男でした。その時に農村では、長男が一番大切にされ次男とは天と地程の差がある事を知りました。従兄達は私よりもずっと年上で中学生、高校生ですから、野良仕事も充分出来ました。私は益々肩身の狭い立場になりました。6名の従兄弟達と兄弟のない一人っ子の私は多勢に無勢で、何彼につけ敵わず泣き寝入りの毎日でした。つくづく人は力がないと負けてしまうのだと思いが募り、頼りになるのは親だけだ。親と子はどんな時でも一心同体だと思うようになりました。やがて私は結婚し、家族が出来、二人の男子に恵まれました。私は家族に疎開した時の出来事やそこで得た教訓を話しました。食べる物も乏しい時代に親子が力を合わせて朝早くから懸命に働いたから、あの戦後の混乱期を生き延びて来れたのだと子供達に言って聞かせました。それからは、家族全員が早起きになりました。二人の子供も夜型人間から早朝から勉強する朝型人間に育っていきました。子供の進路は公立か私立か迷いましたが、キリスト教主義でアカデミックな校風の私立聖光学院を選びました。それに、私の中学以来の親友であり、聖光学院の教師をしていた故菅野靖夫君（平成11年9月3日逝去）がいた事が心強く安心出来ました。創立者であり、校長のピエール・ロバート先生はフランス系カナダ人で、カナダ、イギリス、イタリアなど各国の大学で学び、来日して早稲田大学文学部を卒業しました。日本語を流暢に話し、古典も含めて日本語そのものに造詣が深く、特に漢字や故事来歴は私達よりも知っていました。大変博識の方で私達父兄は先生のお話しを聞き学

ぶことが出来たのは望外の喜びでした。ある時、「早起きは三文の得というのは何故か」とピエール先生に尋ねてみた事があります。先生はこうした会話、特に日本人から日本語に関する事を質問されるのがとりわけ楽しみな様子でした。

「早起きは三文の得というのは朝早く起きて、道を掃除していたら小銭が落ちていた。それで得をしたという事ではない。三文というのは、価値が低いお金のことを意味する。しかし価値が低いと思われる事でも大きな価値につながることもある。何事も損得で判断するものではない。」私は中国の戦国時代の思想家荘子が「人は皆、有用の用を知るも、無用の用を知るなきなり」と言っているが同じことですねと言うと先生は「そうです。そうです。」と相槌を打ち大変喜んで下さった事を懐かしく思い出します。「人よりも朝早く起きたから、三文と出会ったわけで、このように早起きは寝坊の人よりも多くの機会に恵まれることを言う。これを続けて行くと有意義な事を人よりも多く学べたり、何かしたいことに時間をかけることが出来る。自分を更に磨くことが出来る。即ち質の高い人物になる。」と教えて頂きました。

先生はカトリック教育修道士会の修道院で暮らし、修道士になる勉強をされました。毎日朝から晩まで読書と思索に没頭し、新聞を読むことを禁じられました。第二次世界大戦のあった事は修道院を出てから知ったそうです。先生は日本文化、とりわけ神社、仏閣についても造詣が深く、聖光学院の生徒は全員葵区羽鳥の見性寺で座禅を組む授業を受けました。このように何事も排他的なところは少しもなく、実に心の広い方でした。今でも聖光学院の寄宿舎の生徒会主催の「喜びともてなしの会」に当会の知的障がい児施設「安倍学園」の子供達が毎年ご招待頂いております。当時私は聖光学院父母会の会長をさせて頂いていたので、ピエール先生のお話を聞く機会が多くありました。先生は「親の背中を見て子は育っていき、親は子供を育て、親自身も育っていく。子供が望ましくない行動があったら見逃してはならない。直ちに正し、善くなるように導くことが大切。あきらめたり、見放すことなく根気よく助言を続けていく愚直さが親には必要である。」とよく言っておられました。親としてピエール先生から薫陶を受け、40年経ちました。ピエール先生は亡くなられましたが、今でも先生が残された数々の教えは多くの父母が親として成長した貴重な時代であったと感謝しております。

現在の私は40年前と同じペースを保っています。毎朝3時から4時の間に起き、6時から6時30分までの2時間から3時間が貴重な自分だけの時間です。3階の神棚と1階の御霊舎の掃除、礼拝、空手の練習、読書をします。5年前に家を建て替えて3階建てにしました。3階の屋上のデッキに立つと遠くは富士山、近くは母校の静岡高校、賤機山など東西南北に渡り展望出来ます。地所続きに現在建築中のグループホーム2棟も眼下にあり、工事も順調に進んでいる様子が毎朝確認出来るのは実に嬉しい事です。朝4時頃はまだ暗く家々の門灯の灯りや部屋の明かりが四方八方に輝いて見えます。この辺りは私が小学生の頃は殆どの家が平屋建てで、密集していました。子供の遊ぶ声や子を叱る親の声が飛び交う活気のある住宅地でした。その頃私は大きくなったら2階建ての家に住みたい、2階の窓からまわりを見てみたいとよく思ったものでしたが、68年ぶりにその念願がかないました。

グループホームは娘の名をとってファミィーユさんあい大岩本町、葵館・旭館と名付けました。周辺の家並みと同じ2階建てにして、家のまわりは余裕をもって建ててあります。運営は当会で行うので、入居者の安全対策として防犯設備やスプリンクラーが設置されています。

ところで、早起きはテレビの良質な番組が見れます。小さな旅、日本200名山、ダーウィンが来た、目撃日本、こころの時代、あの人に会いたいなどです。10月の初め頃に久々に「ダーウィンが来た」を見ました。そこで鳥の「かっこう」に托卵の習性があることを初めて知りました。かっこうは卵を他の鳥の巣に生み落とし、雛(ひな)から成長するまで他の鳥に育ててもらっています。托された鳥の中には卵の形状、臭いで自分の卵でないとわかると、卵を割ったり、巣から落としたり、運よく雛になってもいじめられたりして、命を落とす場合もあります。ところが、烏(からす)だけはかっこうの卵も自分の卵も大きさは違っても構わず育て、雛になってからは餌を遠くまで取りに行き、我が子と同様に口移しで餌を与えます。自分の雛とかっこうの雛を差別しません。また雛同士も仲良く育ちます。烏は童謡の「七つの子」で知られているように我が子とかっこうの子を分け隔てなく優しく大切に育てます。人に例えると里親や乳児院の職員、児童施設の職員のような存在です。烏は餌を求めて相当遠方に行きます、その留守をねらって鳶、鷹、蛇が雛を襲ったりします。烏の雛は鳴き声がか細く、遠方にいる親迄届きません。一方、居候のかっこうの雛はかん高い声で侵入を告げます。これを聞きつけて親烏はすぐ戻ってこれますが、鷹、鳶は猛禽類で烏はかないません。ところが驚いたことにかっこうの雛は鳶、鷹、蛇を自らの排泄物で撃退します。かっこうの排泄物は強烈な臭いがして猛獣のチーターでも逃げ出すそうです。このようなかっこうと烏の持ちつ持たれつの関係は数十万年前から続いているそうです。私は自然界の不思議な出来事に心を打たれました。「烏はなんと心の広い優しい鳥なのだ、それに比べて人間は…」人間は万物の霊長といわれています。本当にそうでしょうか。そうだと言い切れますか。

一方、東京都港区白金台の保育施設建設反対の住民運動がテレビで取り上げられました。保育施設が必要なことはわかっていても、いざ自分の近くに来るとなると、公園がつぶされる・憩いの場所がなくなる・子供の遊び場所がなくなる・老人は公衆トイレがなくなると小便が近いので困る・公園の立派な樹木がこれからは見られなくなるのが寂しい・家の窓から保育施設が丸見えになり、景観が悪くなるなどとそれぞれ自分本位の事を主張しています。また港区は待機児童が190名もいて、今すぐとりかかる必要があるそうです。この番組には、歌手で俳優の中條きよしさんが出演していました。45年程昔のことですが、静岡県知的障がい者愛護協会（現静岡県知的障がい者福祉協会）に中條さんが公演した収益の一部を協会に寄贈して下さり、市の公会堂（現市庁舎）で中條さんから当時協会の常務理事であった私が直接頂きました。私は中條さんがどのように発言するのか固唾を呑んで視ていました。中條さんはこの時、「誰でも幼児の時代はあった筈、今は子供が大きくなり保育施設が必要でないからといって反対なのはあまりにも身勝手すぎる。子供の事はもっと真剣に考えて欲しい。少子高齢化時代と言われている。子供が増えないと日本の将来は危ないと嘆くよりも子供が増えるために保育施設を多く作ればよい。保育施設がなければ共働きできないから経済的にも深刻な問題。」と発言され、45年前と同じ歯に衣着せぬ物言いが懐かしく思い出されました。反対をしている人達の中には私達は保育施設は使えなかったが、子育てをやってきましたと言う人がいましたが、それは身内に子供を見てくれる人がいたり、経済的に恵まれている人達だから言えることでしょう。もう少し立場の違う人を思いやる事が出来ないものでしょうか。これでは烏に笑われてしまいます。こうした騒ぎを尻目に国では「我がこと丸ごと」のスローガンのもとに「地域共生社会」の構築を目指しています。これはいずれ誰でも老人になる。障がい者にいつなるか分からない、誰でもその可能性はある。また

子供も親に何かあれば養護施設に入所せざるを得ないかもしれません。高次脳機能障がいや交通事故に絶対会わないと言いきれる人はいないでしょう。脳出血、脳梗塞で高次脳機能障がいになって仕事が出来ない。会社を退職せざるを得ない等の事例は急増しています。このように老人、障がい、児童の問題は他人事ではないのです。いつ自分事になるかもしれません。これからの地域社会は、住民が様々な問題を抱える人達と問題を共有していく共生社会の構築が必要になってきます。ところで当会は職員用に託児所（チャオバンビーニ）を作り、2年経過しました。いつも人手不足に悩まされている職場ですが、託児所を作ったおかげでお母さん達が勤めてくれてとても助かっています。また60歳以上の高齢者の職員は全職員117名中21名の18%、障がい者雇用率は17名で14.5%です。（平成30年12月1日現在）性別、年齢、障がいの有無を問わず働きたい、働ける方は当会への応募を是非お願いします。因みに当会の記章は金色の「八咫の烏」です。神武天皇が東征の砌、金の八咫烏の案内で無事熊野を脱出出来た故事から当会の記章としました。三本足の烏は太陽の神護神です。烏のように利用者に優しく、親身に支援することが当会の目標です。読者の皆様には、これ迄同様に当会に対し、温かいご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ会長挨拶とさせて頂きます。

追伸

私の長女葵は今年七五三で写真は早々と9月に静岡高校の同期生、原崎勝平君の「ローマ写真スタジオ」で可愛いポーズで沢山撮ってもらいました。この頃、幾分おしゃまになって来ましたが、とても愛らしく、女の子らしく育っています。

次女旭は、朝5時位から、喉が渇いた、お腹がすいたと多分言っていると思いますが、2階から大声で私を呼びつけます。男の子のようなたくましさを感じます。長女は多少寝相が良くなりましたが、次女は寝ている場所が一晩で部屋を一周する程、寝相がダイナミックです。

そこで、恒例の一句をご披露させて下さい。

幼な子の　寝姿正す　夜長かな

一如

■理事長挨拶

利用者の幸せが職員の幸せ

社会福祉法人　明　光　会
理事長　　寺　田　千　尋

寺田会長から、理事長職を預かり、私なりに手探りではありますが、少しずつ理事長としての役割を担うことが出来たのではないかと考えています。

関係者の皆様や、ご父兄の皆様からは、常に温かいお言葉を頂戴し、応援して下さっていることに大変感謝しております。ありがとうございます。まだまだ未熟ではございますが、これからも全力で頑張りたいと思いますので、温かく見守って頂けると幸いです。

私たち明光会は、障害のある方にとって、なくてはならない存在になるべく活動をしております。仕事の本質は、自分以外の誰かに『ありがとう』を言ってもらえるものであるべきで、それらが社会を形成していると私は考えます。創設者の寺田鋏先生の理念でもあり、明光会の理念でもありますが、明光会は障害者に教育の機会を提供するという志から始まっています。それは、当時の就学免除という制度の中、障害のある方の勉強の機会を奪ってはいけない。生活力を高めるためにも、簡単な読み書きそろばんが出来るようにという事を目標にしたと会長から聞きました。今は、特別支援学校もでき、当たり前のように学校に行き、学ぶことが出来る時代になりました。

では、今のニーズは何なのかと、私なりに考えた結果、当たり前のように、住み慣れた地域で、自立して生活を送ることなのではないか、と考えました。そして、今年度念願の市街地グループホームを二棟建設することが出来ました。又、補助金等を充てにしない本物の福祉をという創設者の思いを引継ぎ、寺田会長とともに、自己資金で建設することにいたしました。慈悲尾のグループホームをお使いの方は、通勤に 2 時間かかるということもあり、公共交通機関の便も悪く、制限されてしまうのです。

普通という言葉は、ごく簡単に使われますが、障害のある方にとって、この普通にということの中にも困難なことが沢山あります。初めての市街地でのグループホームですので、何分多面において、行き届かないことも多々あるかとは思いますが、利用者の方の本物の幸せに近づくサービスが提供できるように、邁進してまいりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

平成29年度 事業報告総括

平成30年 5 月28日
理事長　寺 田 千 尋

平成29年度の事業報告の総括をし、到達した重要事項の成果と平成30年度に向けた課題を総括する。

1．法人ガバナンス※1の強化について

(1) 理事会を実務経験のある兼務職員で構成する。現在の理事定数10名を6名に縮小し、実効性、効率性、利便性を持たせる。定例執行役員会を年間12回とする。

尚、理事は評議員と兼任は出来ない。三親等内の親族制限もあり6名の場合は該当理事につき1名までになる。また、法人と利益相反の関係がある者も理事になれない。

〈実績〉

引き続き実施し成果が出ている。兼務職員にしたことで、実効性、効率性ともに飛躍的に向上し、効果は着実に出ている。実務を担当しているため、課題に対して敏速に対応が可能となり、利便性もある。

〈達成率〉100％

(2) 評議員定数は理事定数6名に1名加えた7名とする。

以上は、社会福祉法の成立を見計らい全国一斉に行政説明会を開催することが予定されている。これに基づき各法人では、評議員選考委員会が設立され評議員が選出される。新社会福祉法に基づいた編成になる。

〈実績〉

引き続き実施している。

〈達成率〉100％

(3) 新たに会長を置く。従来は理事の中から会長を選任したが、これからは会長は理事ではない。会長は理事長あるいは会長を合わせて10期20年以上勤めた者で本会事業に多大な貢献をした者を理事会で選任する。

〈実績〉

今年度より実施している。

〈達成率〉100％

(4) 会長は、理事長の要請により、法人の会務に参与する。会長は理事長の諮問に応じ、理事会、評議員会に出席し、意見を述べる事ができる。

〈実績〉

より良い運営のためいろいろなご意見をいただいている。

〈達成率〉100％

(5) 地域貢献事業を引き続き行い、予算化する。

〈実績〉

草刈り事業については、親しみやすいよう「カリトル君」と名付け、チラシ等も配布した。年間240万円の予算を立てたが、草刈りは季節性の強い事業のため、実績は7万円程度で止まった。これまでの実績を踏まえ30年度は、独居老人世帯等のニーズとなるものを抽出し、草刈りも含めて、窓の清掃や建具等の小破修理、地域から市街地への送迎等を含めた広範囲の活動として実施していく予定である。

また、二年連続で7万程度のため、新たな地域貢献業を行っていくことも視野に計画を遂行したい。

〈達成率〉60％

(6) 平成29年度は、新定款を12月に静岡市に提出し、1月末に認可を得ており、6月の定時評議員会に理事改選議案書類を提出する。6月19日に新理事による新理事会に於いて、新理事長の選任と会長の選任をする。

〈実績〉

提出済みである。1月31日に認可を得た。新理事長、会長ともに任命済み。

〈達成率〉100％

(7) 法人ガバナンス強化のために、会長出席の元、定例執行役員会、幹部会議を毎月行う。

〈実績〉

実施している。

〈達成率〉100％

2．施設・事業所経営の強化

(1) 福祉型障害児入所施設　安倍学園・障害者支援施設　ルーチェ仰陽

①定員充足と定員見直しを計り、安定した経営を計る。

②安倍学園は特別支援学校に通学するのが困難な周辺市町村から、契約児童を主として、募集体制に入る。

③ルーチェ仰陽の定員の見直しを検討する。

④ルーチェ仰陽の通所利用者は新築した4号館を利用する。

※1　ガバナンス：統治という意味で、組織に関与するメンバーが主体的に関与を行う、意思決定、合意形成のシステムのこと

〈実績〉
①児童の利用人数が、静岡県内の児童施設すべてにおいて、定員割れの状況にあり、当会においても同様の状況である。打開策として、パンフレットを作成し、募集や利用についての案内を積極的に行った結果、改善傾向にある。今後も活動を活発に行い、定員確保につなげていきたい。
〈達成率〉95％
②安倍学園は特別支援学校に通学するのが困難な周辺市町村から、契約児童を主として、募集体制に入る。
〈実績〉
今年度、利用児童が4名あった。
〈達成率〉100％
③ルーチェ仰陽の定員の見直しを検討する。
④ルーチェ仰陽の通所利用者は新築した4号館を利用する。
〈実績〉
現在検討中である。施設全体の建物等については、毎週工事打ち合わせを行い、大規模改修となるため、設計士の西山氏と打ち合わせをし、計画を立てている状況である。
4号館の利用については現在行っている。活動ごとのグループを細分化し活動を平成30年度に行う予定である。
〈達成率〉80％

(2) 就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所　けやきワークセンター
就労継続支援B型事業所　安倍野工房

①定員充足を計る。
〈実績〉
けやきワークセンターにおいては、県内屈指の就職率75％（9名就職／12名利用）を誇るため、通所された利用者は利用期限2年のところを、平均1年2か月で退所している。そのため、なかなか定員数に満たないのが現状である。この就職率を武器に利用者を獲得していきたい。安倍野工房については、定員数を満たしている。
〈達成率〉80％
②A型事業所ヴェルデあべのの定員充足を計る。給与の財源となる下請けの業務の拡大と、洗濯業務を定着する。
A型事業所も一般就労に向けての取り組みをする。
〈実績〉
現在進行中である。具体的な計画を立てて実施している状況である。
〈達成率〉80％
③安倍野工房は、業務の拡大と利用者のA型事業所及び一般就労に向けての取り組みをする。
〈実績〉
現在進行中である。具体的な計画を立てて実施している状況である。
〈達成率〉80％

(3) 生活介護事業所　ヴィヴァーチェあしくぼ、就労継続支援B型事業所　フォルテあしくぼ

・ヴィヴァーチェあしくぼ
①作業種目を増やし、工賃向上を計る。
②目標である月額3、000円に向けて年次計画を立て、実現を計る。
〈実績〉
現在作業種目はSPSの広告作業、丸十テクニカルサービスの箱折作業、㈱まんげつイベント関連のグッズ作成3種を追加した。しかしながら、昨今の社会情勢もあり、企業からの作業委託事態が減少したため、工賃はダウンした。今年度は、平均工賃2、769円であった。さらなる、工賃アップのための作業を増やし、また、開発をしていきたい。
〈達成率〉90％
・フォルテあしくぼ
③パンの製造を見直し、食事となるパンの開発を計る。
〈実績〉
今年度、5種類の新商品を開発した。29年度は6種類の新商品を開発した。購入者のニーズに沿ったパンの販売を行っていきたい。平均工賃は20、745円であった。
〈達成率〉90％

(4) 共同生活援助事業所　ファミィーユさんあい

①定員の充足を計り、老人関係施設への転居を活発化する。年齢と体力を考え、利用者にとって、望ましい生活環境を提供する。
〈実績〉
現在も検討中である。建物等については、毎週工事打ち合わせを行い、大規模改修となるため、設計士の西山氏と打ち合わせをし、計画を立てている状況である。
〈達成率〉80％

(5) 静岡市障害者等相談支援事業、静岡県高次脳機能障害支援普及事業
特定相談事業所、障害児相談事業所、一般相談事業所　サポートセンターコンパス北斗
障害者就業・生活支援センター（雇用安定等事業・生活安定等事業）さつき
・サポートセンターコンパス北斗
①計画相談は今後増加し続けるので、需要に応じられるために、相談員の増員が必要となる。
・さつき
②定着支援担当相談員の増員が必要である。
〈実績〉
現在も引き続き求人をかけて増員について対応中である。また、勤務年数の長い職員の資格取得を推進する。
〈達成率〉90％

3. コンプライアンス※2を推進するために、諸規程の見直しと諸規程の整合性を計る。
〈実績〉
現在も見直しを行い、整合性を図っている。
〈達成率〉100％

4. 人材の育成
(1) 人材育成のため、資格取得の奨励をする。
〈実績〉
今年度、社会福祉主事、保育士、介護福祉士、社会福祉士の資格取得の試験に職員が参加している。社会福祉主事は平成29年9月に1名取得見込、保育士については10月の試験で3名が取得見込、介護福祉士は3月、2名合格した。
〈達成率〉100％

(2) 人材育成、職場定着のためには、国家資格取得を中心としたキャリアパス計画※3が必要である。職員一人一人のきめの細かい研修体制と資格取得のための支援体制。
〈実績〉
今年度、社会福祉主事、保育士、介護福祉士、社会福祉士等の資格取得の試験に職員が参加している。
〈達成率〉100％

(3) 本会独自の退職金積み立ての継続。
〈実績〉
継続中である。
〈達成率〉100％

5. 施設整備
(1) 安全な施設を維持するために、静岡市都市局建築部建築指導課指導係からの特殊建築物【建築物・建築設備】の定期検査報告結果により是正を行う。
(2) 本部敷地正門・裏門の改修工事。
(3) 防災対策としての井戸・受水槽設置工事。
(4) 芝生区域拡張工事。
(5) 各所サイン変更工事。
(6) ルーチェ仰陽3号館耐震補強工事。
(7) グループホーム1棟新築工事。
(8) 本部舗装工事。（中長期計画）
(9) 入所棟屋上防水工事。（中長期工事）
(10) 明光会館建設のための準備。（中長期計画）
〈実績〉
(1)・(2)・(7)は実施した。
(3)・(4)・(5)・(6)は今後の工事計画に含めて、優先度を再検討する。
(8)・(9)・(10)は中長期的に進めていく。
〈達成率〉90％

6. 公益事業の推進
〈実績〉
【地域貢献事業】草刈り事業については、親しみやすいよう「カリトル君」と名付け、チラシ等も配布した。年間240万円の予算を立てたが、草刈りという季節事業のため、実績は7万円程度に止まり、29年度は草刈りを含めた窓の清掃等を加え、さらに独居老人世帯等の地域から市街地への送迎等を含めた活動として実施していく予定である。
【生活困窮者支援事業】学資金助成については、法人独自の取組みをしていく予定である。今後、社会福祉充実残高の状況により、対応の時期を判断していきたい。
〈達成率〉60％

平成 29 年度から勤怠管理を IC 化しました。
今後、セキュリティー面にも活用できるよう
検討しています。

※2　コンプライアンス：法令遵守、特にルールに従って公平・公正に業務を遂行すること
※3　キャリアパス計画：企業における、ある職位につくまでに辿ることとなる経験や順序を示したもの

■平成29年度法人重点目標と進捗状況について

重点目標	進捗状況
(1)障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）による機能別新事業の円滑な事業運営を目指す。。 ①個別支援会議により、アセスメント※4・モニタリング※5・個別支援計画の作成会議の通例化を図る。措置児童に対しても個別支援計画を立てる。	継続中。 ・年間を通しての計画を組み立てられるようになった。平成 24 年度にサービス支援経過報告書の作成を開始し、個別支援計画の達成状況について、月毎に課題の達成状況の確認をし、その結果を踏まえてモニタリングを行なえてきている。平成 26 年度は、サービス支援経過報告書を個別支援計画の内容と結びつくことをシステム化し、支援職員が記入しやすいように書式の見直し等を行った。 ・１日の目標達成状況を記録する書式も毎月ご利用者やご父兄に確認をして頂き、支援内容を共有できるようにした。 ・サポートセンターコンパス北斗を始めとした計画相談事業所によるサービス利用計画との連携も継続しており、利用者のニーズが主体となり、各サービス事業所での個別支援計画の達成、事業所の期間を踏まえて次の事業所移行等がスムーズに行なえている。 ・措置児童に対する個別支援計画の作成をした。
②各事業の法令及び基準等を把握し、問題点等の把握及び改善目標の設定準備をする。	継続中。 ・特に平成 27 年度から「コンプライアンス強化」を目標に取り組んだ。運営規程、契約書、重要事項説明書等とサービス提供の整合性を細かく確認し、修正していく。 ・平成26年度に引き続き、実地指導や指導監査のシミュレーションを法人内部で行い、定期点検を行った。 ・平成 29 年度は実地指導反省会を行い、各部署の書式の共通使用や効率的な書式の運用を検討し、開始している。
(2)法人内各事業を活かした連携の強化 保護者会及び参観会・集客目的の事業所見学会の機会を増やし、事業所紹介、成年後見制度や権利擁護事業などの事業の説明会をし、相談等の支援を広める。	継続中。 ・今後強化していく事項である。他の事業体にできない社会福祉法人としての強みをこの部分でアピールを行なった。 ・定期見学会（毎月第２、４水曜日）の実施の継続。 ・利用者満足度調査については、全事業所が平成 26 年度から開始した。結果の公表に結びつくように今後整備していきたい。
(3)法令遵守（コンプライアンス）に努め、ホームページの内容の充実を図り、活用し、説明責任（アカウンタビリティー※6）を果たし、各部署統御（コーポレートガバナンス※7）を確実に推進し、苦情・要望対応、個人情報保護の体制強化を徹底する。	継続中。 ・ホームページの更新は、常に情報発信を心掛け、行事の案内や紹介を迅速に行っている。お便りの発行は実施しているが、遅れがちなため、実施する方法の検討が必要である。（部署によっては、発行回数が異なる。） 平成27年度から、①ホームページ更新②パンフレット改定強化③各部署のおたより毎月発送④行事写真掲示を主な活動の内容とし、情報発信を行う。７月に運営状況をまとめた法人広報誌第５号を関係者に配布、送付した。

※4　アセスメント＝利用者に関する情報を収集・分析し、自立した日常生活を営むために解決すべき課題を把握すること
※5　モニタリング＝利用者に対して必要なサービスが提供できているかどうか、状況の変化に応じた利用者のニーズが新たに発生していないか等、常に支援者が把握しておかなければならない情報を入手するために行うこと
※6　アカウンタビリティー＝説明責任という意味で、サービス利用者に対する必要な情報の開示、十分な説明はもちろんのこと受け手がそれを理解・納得したうえで内容に合意または拒否する自主性までを含む
※7　コーポレートガバナンス＝企業統治という意味で、企業を取り巻く様々なステークホルダー（利害関係者）が企業活動を監視して、健全かつ効率的な経営を達成するための仕組みのこと

重点目標	進捗状況
	・インシデント対応について、平成 26 年度から、「インシデント 0 宣言」を目標に行っている。 インシデントの件数は、24 件である。 ・苦情解決について、29 年度の苦情件数は 5 件であった。年度末時点で全て解決処理がなされ、苦情申し出者に対する報告及び苦情解決内容の公表掲示は済んでいる。 苦情及びインシデントレポートの内容の中には、未然に防ぐことができた内容があり、職員の意識の向上、接遇マナー等の向上が必要と捉え、来年度も継続して職員研修内容に含めている。 苦情件数の部署内訳は別表のとおりである。 ・個人情報保護については、情報セキュリティーの一環として全職員のＩＤ・ＰＡＳＳの設定をし、閲覧及び操作の出来るデータの権限をつけた。今後は、データの保管量や被災時の対応として他地域へのバックアップサーバーの設置を検討する。
⑷事業の執行体制の刷新 ①安倍学園・ルーチェ仰陽・ファミィーユさんあいの統括勤務体制を策定し、ファミィーユさんあいの夜間体制の実現等、円滑化を図る。	継続中。 ・夜間帯の勤務の見直しを行い、変更の勤務体制で行っているが、安定しきれていない。早朝や夜間帯の勤務のできる人数の確保が難しい点を踏まえＩＣＴ化も並行して進めていく。
②良質な福祉サービスの提供を目指す、労務管理体制の改善。	継続中。 ・超過勤務の指示体制を厳格に行い、サービス残業 0 を目指している。ノー残業デーを毎週水曜日に実施している。（平成 20 年度より継続して実施している。） ・法人本部での定期的な職員との面談等で改善をしていく。また、全幹部職員との面談も実施し、幹部職員及び各事業所の持つ課題について共通認識と改善方法の検討を行なう事ができた。 ・労務管理体制の改善については、今後の想定を踏まえた体制策定を顧問社会保険労務士とも相談しながら進めていく。 ・平成 29 年度から勤怠のＩＣ管理システムを導入し、超過勤務の集計や分析等をしやすくしている。 ・平成 27 年度から導入した福祉・介護職員等処遇改善費も有効に活用し、職員のモチベーションアップへとつなげたい。 ・キャリアパスの策定に関わる研修会に参加し、策定についての情報を収集している。
③非正規職員の積極的導入。	継続中。 ・平成 27 年 12 月に開所した託児所の利用が 4 名の雇用に繋がっている。今後も広報活動を行い、増やしていきたい。（2 名正規・2 名非正規） ・職員研修を行い、一定の効果はあったが、定着や積極性、技術向上については指導中である。サービス業の経験のある職員や幅広い経験を持つ職員も多く、様々な方向から当法人の事業を展開する事にも発展している。

重点目標	進捗状況
	・非正規職員の割合が 6 割を超えているので、非正規職員内の階層を作るかを検討している。又、積極的に正規職員を希望する職員に対しては、一定の条件をクリアした者に限り、登用を行っている。
④外国人労働者の導入。	検討中。 ・今年度は特に対応することはなかった。
⑸事業の見直しと運営の効率化 ①幹部職員の意識改革及び厳正な評価、職員資質及び実践力の向上（業務標準化マニュアルの作成）、人財育成（職員研修計画の策定及び実施）、法人外部からの人財導入を積極的に行う。	継続中。 ・平成 28 年度は幹部職員へのスケジュール管理について特に強化をした。幹部職員研修を 2 回（ＢＣＰ・部下育成）実施し、必要な知識の共有を行った。 ・ＣＵＢＩＣを導入し、性格診断、学力診断を全職員実施し、個別面談への活用と共に適材適所の参考資料として活用していくベースを作成している。
②経費の削減、経営の効率化、支出単価の見直し（業務見直しにより、具体的方法の決定及び実行）。	継続中。 ・特に委託作業に関しては、全面的に相見積を行なう事で、業者の競争意識を促した。 ・実地指導シュミレーションの中で各事業所単位での在庫管理がかなり多い事が判明した。 災害時等でも有効に使用できるよう一括管理も検討をしている。
③諸記録等、重複文書の見直し、簡素化。	継続中。 ・事務処理の合理化を図り、重複文書等がないよう適宜見直しをしている。 ・現場内での記入書類の再確認。 ・事務局についても銀行処理の簡素化で会計処理も付随して簡素化できるよう処理の内容を細かく確認している。
④施設行事等の実施方法、年間計画の実施。	継続中。 ・事業計画の内の年間行事計画に沿って行い、行事計画の立て方が適正かを確認する。年間行事・月間行事が安定する事により、業務計画が立てやすくなり、職員の超過勤務の調整がとれやすくなっている。 ・平成 26 年度から、全職員に配布する「さんあいノート」に全事業所の開所日・行事会議予定を記載したものを追加し、情報共有がスムーズに行う事ができた。
⑤各職員への情報周知の徹底。	継続中。 ・部会・研修会・各会議・各委員会の会議録の周知方法を策定し、進めた。 ・重要な情報の周知がいまだ徹底できていないので、環境整備も含めてできていない事業所の強化を図る。
⑹看護師、管理栄養士、栄養士、調理師による利用者の健康管理（体重管理、栄養管理、病状による献立の検討）など栄養ケアマネージメントの推進。	継続中。 ・平成 27 年 6 月まで、栄養ケアマネジメントについて行ったが、管理栄養士の退職を機に、現在は行っていない。今迄の献立表から、ご指摘を頂いた部分の改善を行うような献立表作成をすることで、より良い食事提供を目標としている。食形態の変更や、アレルギーのある方への対応は、受け入れ部署、健康づくり推進センター、調理部の連携が必要な部分は、合同朝礼で行っている。

重点目標	進捗状況
⑺産業医による職員の健康管理の充実、職員研修会（感染症予防等）の実施。	継続中。 ・メンタルヘルス・熱中症・感染症研修会を実施していただき、職員の研修の場となっている。職員の健康面の不調から車輌事故につながる場合もあり、要受診の診断を受けた職員の受診についても必ず報告を得るように管理している。 ・平成 28 年度に導入したストレスチェック制度については準備を早めたことで、スムーズな実施ができた。
⑻利用者の地域での自立を図るため、静岡保健福祉圏域等の関係機関、団体とのネットワークづくりを図る。	継続中。 ・連絡調整会議等の定期的な場での情報交換を含め、地域及び団体とのネットワークづくりを継続して勧めている。また、事業所の地図・台帳を作成し、個々の相談に合ったサービスの紹介ができるよう工夫をした。
⑼就労移行支援事業所、就労継続支援Ａ型事業所「けやきワークセンター」の強化 けやきワークセンターの平成 25 年度の就職率は 87％であった。平成 27 年度からは就労継続支援Ａ型事業所（定員 10 名）を含めた多機能型事業所として運営するが、今後の状況により、就労継続支援Ａ型事業所（定員 20 名）を目指す。	継続中。 ・平成 28 年度の就職率は、83％であった。就労継続支援Ａ型の利用者は 6 名となっている。来期からは大幅に作業内容が変更となることから、人員を募集しながら、定員増につながるようにしたい。 ・平成 30 年度から始まる定着支援についても情報を集めていきたい。
⒀障害者就労モデル事業「喫茶ぴあ～」の業務受託	継続中。 平成 22 年度から受託をしている。定期客もおり、売り上げも安定してきている。今後は、接遇向上、商品開発、集客方法などを検討していく。
⒁静岡総合庁舎食堂の業務委託	新規。 平成 30 年 1 月に県より打診があり、説明会に参加する。 2 月に行われたプレゼンテーションへの参加を通して、受託が決定した。 法人からヴェルデあべのに業務委託を行い、利用者 2 ～ 3 名、職員 1 ～ 2 名体制での運営を開始する。 駿河区に新たな就労拠点を設ける事で、近隣の方の就労や授産製品の展示、販売を通して福祉のアンテナショップになる様、宣伝を強化し、行う。

＜平成 29 年度　苦情解決状況・インシデント件数＞

	苦情受付件数	苦情解決件数	インシデント件数
安倍学園	0 件	0 件	6 件
ルーチェ仰陽	0 件	0 件	3 件
ファミィーユさんあい	0 件	0 件	0 件
安倍野工房	1 件	1 件	0 件
けやきワークセンター	0 件	0 件	0 件
ヴェルデあべの	0 件	0 件	0 件
北斗	1 件	1 件	1 件
さつき	2 件	2 件	0 件
ヴィヴァーチェあしくぼ	0 件	0 件	3 件
フォルテあしくぼ	0 件	0 件	2 件
健康づくり推進センター	1 件	1 件	0 件
調理	0 件	0 件	9 件
合計	5 件	5 件	2 4 件

苦情対応状況	【苦情内容】就労移行支援事業所　けやきワークセンター 訓練室内のロッカーの引き出しに何が入っているのか分かりにくく、作業効率が悪いというご指摘を頂きました。引き出し毎に入っているものの内容をテープで貼るように致しました。

■施設整備　主に入札関連工事を報告

①ファミィーユさんあい第 8 欅寮新築工事	29 年 12 月 26 日～ 30 年 5 月 28 日
設計監理業者	西山建築設計事務所
設計監理料	2,721,600 円（税込）
施工業者	久保田建設株式会社
施工金額	51,084,000 円（税込）

■障害者虐待防止法施行への対応

法人内身体拘束・虐待防止委員会の体制を平成 25 年度に見直し、苦情受付体制同様に利用者・家族へ対応方法を掲示している。
【体制強化】法人内で通報対応責任者・受付担当者・チェック者（入職 1 年未満）を配置。
また、虐待防止第三者委員として顧問弁護士の興津哲雄先生、弁護士の杉田雅彦先生に委嘱をしている。
【職員向け】毎日、虐待防止チェックシートを記入し、業務報告時に上司に伝えるようにしている。自分以外の職員の虐待にもすぐにチェックをするようになっているので、早急な情報共有、指導等ができる。
【家族向け】各事業所の参観会ごとに、法律の施行をご説明するとともに、ご家庭の虐待を見つけたら、事業所が通報の義務があることをお伝えしている。現に虐待の可能性があるご家庭については、短期入所・日中一時支援などの介護疲れを解消するサービスのご提案をサポートセンターコンパス北斗が介入し、事前の予防に努めている。
また、静岡市の虐待受付窓口であるサポートセンターコンパス北斗で受け付けた虐待事例も参考に法人全体で虐待防止に努める。

第 8 欅寮の竣工式でのテープカット写真です。

第 8 欅寮のリビングです。IH 対応で利用者の方がお料理等もできるようにしています。

社会福祉法人　明光會　役員名簿

平成３０年６月３０日付

任期 自：平成 29 年 6 月 19 日 至：平成 33 年 6 月定時評議員会終結時		任期 自：平成 29 年 6 月 19 日 至：平成 31 年 6 月定時評議員会終結時	
役職名	氏　　名	役職名	氏　　名
評議員	林　恵子	理事	寺田千尋
評議員	石川　勇	理事	飯塚友紀
評議員	星野健兒	理事	望月志保
評議員	松井直樹	理事	降矢章治
評議員	溝口直毅	理事	吉澤洋子
評議員	橋田憲司		
評議員	本多秀一郎		
		監事	渡辺克夫
		監事	近藤隆久

会長・顧問・第三者委員等名簿

役職名	氏　　名	役職名	氏　　名
会長	寺田亮一	苦情解決第三者委員	橋田憲司
顧問	望月治己		星野健兒
顧問	澤本幸夫	虐待防止第三者委員	興津哲雄
顧問	徳田博昭		杉田雅彦
顧問	佐野哲一	評議員選任・解任委員	石上顕太郎
顧問	清水英司郎		渡辺克夫
顧問	肥田　渉		藁品　啓
顧問	野中康弘		

■理事会・評議員会の開催、監事監査の実施

① 監事監査

開催日	監　事　監　査
5 月 23 日	監事監査マニュアルによる監査（渡邉克夫監事・近藤隆久監事）

② 理事会・評議員会の開催状況

開催	理事会	評議員会	内　　容
6 月 5 日	第 144 回理事会		●平成 28 年度事業報告に関する件 ●平成 28 年度収支決算に関する件 ●前期末支払資金の取崩しに関する件 ●社会福祉充実残高に関する件 ●新役員候補者の選任に関する件 ●役員報酬規程の改定に関する件 ●工賃規程に関する件 ●創立 60 周年事業に関する件 ●定時評議員会の招集に関する件 **報告事項** ●理事長及び常務理事の専決事項の報告に関する件 ●第 143 回議決事項の処理状況について
6 月 19 日		第 143 回評議員会	●平成 28 年度事業報告に関する件 ●平成 28 年度収支決算に関する件 ●前期末支払資金の取崩しに関する件 ●社会福祉充実残高に関する件 ●役員改選に関する件 ●役員報酬規程の改定に関する件 ●創立 60 周年事業に関する件 **報告事項** ●第 142 回議決事項の処理状況について
6 月 19 日	第 145 回理事会		●理事長の選定に関する件 ●常務理事の選定に関する件 ●会長の選定に関する件 ●顧問の選定に関する件 ●役員等報酬規程補則の制定に関する件 **報告事項** ●第 144 回議決事項の処理状況について
9 月 25 日	第 146 回理事会		●定款細則別表の制定に関する件 ●けやきワークセンター（A 型）運営規程の改定に関する件 ●平成 29 年度第一次補正予算に関する件 ● 60 周年建設準備積立金の取崩しに関する件 ●平成 29 年度工事の入札等に関する件 **報告事項** ●理事長専決事項の報告について ●第 145 回議決事項の処理状況について ●平成 29 年度静岡市実地指導の結果について
12 月 25 日	第 147 回理事会		●パン工房あしくぼ土地・建物の購入に関する件 ●退職資金等確保に伴う保険加入に関する件 ●富士見エリア児童発達支援センター応募に関する件 ●平成 29 年度工事に関する件 **報告事項** ●理事長専決事項の報告について ●常務理事専決事項の報告について ●第 146 回議決事項の処理状況について ●平成 29 年度静岡市実地指導の結果について（公文書） ●「静岡市わらしな学園」移管先法人募集について
3 月 26 日	第 148 回理事会		●就業規則の改定に関する件 ●平成 29 年度第二次補正予算に関する件 ●平成 29 年度工事の進捗に関する件 ●平成 30 年度事業計画に関する件 ●平成 30 年度収支予算に関する件 **報告事項** ●理事長専決事項の報告に関する件 ●常務理事専決事項の報告に関する件 ●第 147 回決議事項の処理状況について ●平成 29 年度静岡市指導監査の結果について

■平成２９年度～ご厚志を頂いた方々

ご寄附

- 静岡太鼓連盟
  会長　法月慶満様
- 医療法人社団静美心会
  ラ・クリニカシズオカ
  武中　暁様
- 草の実の会様
- 信一産業株式会社
  市川真子様
- 赤井産業株式会社様
- 株式会社サンフォレスト
  甲　代表取締役
  清水英司郎様
- 税理士法人
  小長井会計事務所
  所長　小長井　敬様
- 株式会社ＪＡ静岡市
  やすらぎセンター
  代表取締役　名波清隆様
- 清水壽雄様
- 佐野哲一様
- 鈴木吉春様
- 林俊尚・恵子様
- 飯塚友紀様
- 望月志保様
- 降矢章治様
- 吉澤洋子様
- 中村文久様
- 梅下茂典様
- 松野広之様
- 松野　愛様
- 藁品　啓様
- 石田孝祐様
- 野田智佐子様
- 内藤洋子様
- 清水美智様
- 髙橋麻乃様
- 望月智明様
- 中野萌実様
- 梶山寛治様
- 勝間　仁様
- 渡辺夕見子様
- 山本晶子様
- 望月公美子様
- 慈悲尾町内会様
- 株式会社静岡銀行
  安西支店様
- 医療法人
  社団リラ溝口病院
  理事長　溝口明範様
- 静岡芙蓉
  ライオンズクラブ様
- 星野健兒様
- カットサロン茶布鈴様
- 社会福祉法人天竜厚生会様
- 株式会社ホテル小田急静岡様
- 濱村屋様
- 株式会社静岡資源様
- 寺田亮一様
- 寺田　修様
- 佐藤工務店株式会社様
- 海野和彦様
- 山本青果店様
- 伊原待子様
- 西山建築設計事務所
  西山昌行様
- 有限会社
  オガワ自動車販売様
- サクライ石油株式会社様
- 静岡ライフクリーン
  株式会社様
- 杉山タマエ様
- 株式会社サンラク様
- 橋田憲司様
- 株式会社
  鈴木設備工業所様
- クローバー様
- 静岡県教育会館親和会様
- ダックユニオン株式会社
  代表取締役　川村貞利様
- 望月民江様
- 津島まゆみ様
- 八木奈津子様
- 石川伸行様
- 渡邊晴美様
- 西山幸子様
- 小坂京子様
- 吉澤信子様
- 服部逸子様
- 工島明子様
- 静岡英和学院大学様

物品寄贈

- 清水英司郎様 4/1
- 市川真子様 4/2
- 住友生命保険志太焼津支部様 4/5・3/13
- 株式会社ティービー様 4/6・10/29
- 株式会社ホテル小田急静岡ホテルセンチュリー静岡様 4/11・12/4
- 特別養護老人ホームなごみ様 4/13
- 東京福祉大学様 4/21
- セブンイレブン
  静岡西ヶ谷運動場前店
  オーナー　嶋田規博様
  4/24・5/22・5/24・5/31・7/3・7/6・7/12・8/8・10/3・11/7・11/14・11/27・11/30・1/31・2/16・3/7
- 学舎様 4/26・7/11
- 太田　実様 5/2
- 大石晴子様 5/8・12/28
- 生活介護事業所だいち様 5/17
- 株式会社市川園
  代表取締役社長
  市川真太朗様
  5/18・3/28
- 第一駿府病院様 5/29
- 株式会社
  小糸製作所様 5/30
- 川崎義郎様 6/1
- NPO 法人静岡 FID
  サッカー連盟瀬戸脇正勝様
  6/5・11/18・11/25
- 杉山タマエ様 6/12
- 株式会社静岡銀行
  安西支店様 6/16・7/7
- ジブラルタ生命保険
  株式会社第 2 営業所
  山本恵子様 6/23
- 渡邊克夫様 6/26
- 筑紫会真壁厚生学園様 6/26
- 匿名希望 6/29
- 朝倉寿美子様 7/6
- 株式会社大丸
  松坂屋百貨店松坂屋静岡店様 7/8・10/29
- 柴田様 7/20
- 伊原待子様
  7/20・9/8・10/3・10/10・1/12・3/29
- 社会福祉法人ハルモニア様 7/28
- ジブラルタ生命保険
  株式会社第 2 営業所様
  7/29・10/29
- 髙久様 7/31・9/17
- 株式会社モンパルナス様 8/11・10/29
- 株式会社中島屋ホテルズ
  鈴木雄二郎様 9/7
- 寺田千尋様
  9/13・11/7・3/22
- 小野田保子様 9/15
- 岩崎晴美様 9/20
- 望月智明様 9/22
- 山田真弓様 10/12
- 静岡産業大学様 10/25
- 静岡英和学院大学様
  10/26・11/30
- 静岡県立浜松視覚特別支援学校秋本啓子様 10/29
- 荒井産業様 10/29
- 栄東装備株式会社様 10/29
- カットサロン茶布鈴様 10/29
- 株式会社カワジリ様 10/29
- キャノンシステムアンドサポート株式会社様 10/29
- 久保田建設株式会社
  代表取締役久保田五朗様
  10/29・2/22
- サクライ石油株式会社様 10/29
- 杉山生花店様 10/29
- 鈴長薬局様 10/29
- 鈴与商事株式会社様 10/29
- 清美軒様 10/29
- セコム株式会社静岡本部
  静岡統括支社様 10/29
- 中央ヤクルト販売
  株式会社様 10/29
- トヨタレンタリース静岡
  株式会社様 10/29
- 西山建築設計事務所様 10/29
- 日進電機株式会社様 10/29
- 日本食研株式会社様 10/29
- フードデリ様 10/29
- ブロン株式会社様 10/29
- ベーカリーメルヘン様 10/29
- 楽多厨房様 10/29
- 株式会社ケイミート様 10/29
- 株式会社こめやフードサービスみのり様 10/29
- 株式会社サンカメラ様 10/29
- 株式会社サンラク様 10/29
- 株式会社静岡食糧様 10/29
- 株式会社静岡西部食糧様 10/29
- 株式会社鈴木設備工業所様 10/29
- 株式会社鈴与技研様 10/29
- 株式会社タムラ様 10/29
- 株式会社トミヤコーヒー様 10/29
- 株式会社フラット様 10/29
- 美和老人クラブ様 11/17
- 川根町長鈴木敏夫様 11/22
- 春日保育園様 11/29
- 株式会社アレミティ konoki 様 11/29
- 千代公夫様 12/2
- お米日本一コンテスト in しずおか実行委員会
  事務局様　11/30
- 一般社団法人静岡県社会就労センター協議会
  理事長山下敏明様
  12/11・2/8
- 片岡美富士様 12/12
- 全日本自動車産業労働組合総連合会会長
  髙倉　明様 12/14
- 静岡雙葉学園高等学校・中学校様　12/14
- 株式会社昭和パッケージ様 12/26
- 東海ビバレッジサービス株式会社 KIRIN
  黒木秀俊様 12/28
- 静岡大学教育学部
  小林朋子様 1/10・3/15
- 立正佼成会
  静岡教会様 1/25
- 牧野恵子様 1/30・3/13
- 株式会社
  静銀リース様 2/1
- 株式会社天神屋静岡工房様 2/5
- 池野秀朗様 2/13・3/5
- 株式会社ティーサービス 2/28

ボランティア・慰問

- 一灯会様（散髪奉仕）
- 林信夫様（散髪奉仕）
- ジブラルタ生命保険株式会社静岡支社静岡第 2 営業所様（行事ボランティア）
- セブンイレブン静岡西ヶ谷運動場前店様
  （行事ボランティア）
- セコム株式会社静岡本部静岡統括支社様
  （行事ボランティア）
- 静岡市蕎麦商組合青年部様（蕎麦の提供）
- 杉山タマエ様
  （ペーパークラフト）
- 静岡雙葉学園小羊委員会様（クリスマス慰問）
- 静岡聖光学院様
  （夏イベントご招待）
- ダスキン静岡様（調理部の掃除研修会講師）
- 全日本自動車産業労働組合総連合会静岡地方協議会様（ナイスハートふれあいスポーツ広場静岡大会へのご招待）

■社会福祉法人明光會　平成２９年度　決算報告書

貸借対照表　平成３０年３月３１日現在

単位：円

資産の部	当年度末	前年度末	増　減
流動資産	257,854,751	216,811,537	41,043,214
現金	350,000	350,300	-300
普通預金	140,892,151	89,748,272	51,143,879
定期預金	1,138,376	1,138,226	150
事業未収金	107,893,180	116,632,090	-8,738,910
未収金	140,115	157,901	-17,786
未収補助金	312,000	670,000	-358,000
貯蔵品	121,584	146,119	-24,535
商品・製品	1,598,751	1,145,111	453,640
原材料	828,018	805,684	22,334
立替金	3,820,192	5,682,274	-1,862,082
前払金	360,384	335,560	24,824
仮払金	400,000		400,000
固定資産	625,984,957	654,576,060	-28,591,103
基本財産	219,202,913	230,966,749	-11,763,836
土地	1,204,745	1,204,745	
建物	217,998,168	229,762,004	-11,763,836
その他の固定資産	406,782,044	423,609,311	-16,827,267
土地	17,832,495	7,510,400	10,322,095
建物	281,182,855	289,429,760	-8,246,905
構築物	22,233,555	14,543,647	7,689,908
車輔運搬具	13	15	-2
器具及び備品	4,405,158	5,661,401	-1,256,243
建設仮勘定	22,913,020		22,913,020
有形リース資産		648,900	-648,900
ソフトウェア	437,324	914,382	-477,058
退職給付引当資産	57,732,984	24,706,166	33,026,818
その他の固定資産	44,640	194,640	-150,000
60 周年建設準備積立金		50,000,000	-50,000,000
退職給与積立金		30,000,000	-30,000,000
資産の部合計	883,839,708	871,387,597	12,452,111

負債の部	当年度末	前年度末	増　減
流動負債	69,391,051	83,331,248	-13,940,197
事業未払金	9,188,040	8,781,342	406,698
その他の未払金		16,412,222	-16,412,222
1年以内返済予定リース債務		648,900	-648,900
未払費用	28,842,543	25,847,950	2,994,593
預り金	11,106,423	11,194,579	-88,156
職員預り金	2,258,882	2,953,331	-694,449
授産製品売上高預り金	537,547	559,039	-21,492
賞与引当金	17,457,616	16,933,885	523,731
固定負債	57,732,984	54,706,166	3,026,818
退職給付引当金	57,732,984	54,706,166	3,026,818
負債の部合計	127,124,035	138,037,414	-10,913,379

純資産の部			
基本金	31,898,044	31,898,044	
基本金	31,898,044	31,898,044	
国庫補助金等特別積立金	68,272,702	78,175,327	-9,902,625
国庫補助金等特別積立金	68,272,702	78,175,327	-9,902,625
その他の積立金		50,000,000	-50,000,000
その他の積立金		50,000,000	-50,000,000
次期繰越活動増減差額	656,544,927	573,276,812	83,268,115
次期繰越活動増減差額	656,544,927	573,276,812	83,268,115
（うち当期活動増減差額）	33,268,115	47,600,699	-14,332,584
純資産の部合計	756,715,673	733,350,183	23,365,490
負債及び純資産の部合計	883,839,708	871,387,597	12,452,111

第57回　明光会 合同運動会
H29.7.29

ヴィヴァーチェあしくぼの競技です。ボールの行方を追っています。

初めての北部体育館での運動会です。大きな会場で力を発揮しました。

安倍学園児童小学生から高校生の混合太鼓クラブの演奏です。堂々とした演技です。

資金収支計算書　(自)平成２９年４月１日　(至)平成３０年３月３１日

単位：円

勘定科目			予算	決算	差異
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	55,470,000	55,446,914	-23,086
		就労支援事業収入	40,068,000	29,576,271	-10,491,729
		障害福祉サービス等事業収入	518,033,000	517,908,790	-124,210
		その他の事業収入	55,161,000	55,153,643	-7,357
		経常経費寄附金収入	2,405,000	2,405,000	
		受取利息配当金収入	23,000	7,038	-15,962
		その他の収入	8,943,000	8,271,523	-671,477
		事業活動収入計 (1)	680,103,000	668,769,179	-11,333,821
	支出	人件費支出	402,613,000	402,560,024	52,976
		事業費支出	101,084,000	100,981,034	102,966
		事務費支出	79,313,500	68,049,399	11,264,101
		就労支援事業支出	36,299,000	36,279,931	19,069
		その他の支出	19,000	17,280	1,720
		事業活動支出計 (2)	619,328,500	607,887,668	11,440,832
	事業活動資金収支差額 (3) ＝ (1) － (2)		60,774,500	60,881,511	107,011
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	50,284,000	50,283,300	-700
		施設整備等収入計 (4)	50,284,000	50,283,300	-700
	支出	固定資産取得支出	51,704,000	51,693,500	10,500
		施設整備等支出計 (5)	51,704,000	51,693,500	10,500
	施設整備等資金収支差額 (6) ＝ (4) － (5)		-1,420,000	-1,410,200	9,800
その他の活動による収支	収入	積立資金取崩収入	16,134,000	16,132,616	-1,384
		その他の活動による収入計 (7)	16,134,000	16,132,616	-1,384
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	649,000	648,900	100
		積立資産支出	20,577,000	20,572,759	4,241
		その他の活動支出計 (8)	21,226,000	21,221,659	4,341
	その他の活動資金収支差額 (9) ＝ (7) － (8)		-5,092,000	-5,089,043	2,957
予備費支出 (10)					
当期資金収支差額合計 (11) ＝ (3) ＋ (6) ＋ (9) － (10)			54,262,500	54,382,268	119,768
前期末支払資金残高 (12)			149,112,279	149,112,279	
当期末支払資金残高 (11) ＋ (12)			203,374,779	203,494,547	119,768

第57回　明光会文化祭 H29.9.20

フォルテあしくぼの利用者による演技です。「実りの秋」

チャオバンビーニの子供たちによる演技です。「森のオオカミ」

事業活動計算書　(自)平成２９年４月１日　(至)平成３０年３月３１日

単位：円

勘定科目			当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	収益	措置費収益	55,446,914	54,745,299	701,615
		就労支援事業収益	26,690,970	23,843,867	2,847,103
		障害福祉サービス等事業収益	517,908,790	533,096,566	-15,187,776
		その他の事業収益	55,153,643	52,719,343	2,434,300
		経常経費寄附金収益	2,405,000	2,894,000	-489,000
		サービス活動収益計 (1)	657,605,317	667,299,075	-9,693,758
	費用	人件費	407,061,791	394,242,685	12,819,106
		事業費	100,230,047	97,960,669	2,269,378
		事務費	68,040,377	72,684,916	-4,644,539
		就労支援事業費用	37,688,411	34,332,484	3,355,927
		減価償却費	33,161,419	34,429,632	-1,268,213
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-9,902,625	-9,902,625	
		サービス活動費用計 (2)	636,279,420	623,747,761	12,531,659
	サービス活動増減差額 (3) ＝ (1) － (2)		21,325,897	43,551,314	-22,225,417
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	7,038	9,326	-2,288
		その他のサービス活動外収益	11,156,824	4,119,420	7,037,404
		サービス活動外収益計 (4)	11,163,862	4,128,746	7,035,116
	費用	その他のサービス活動外費用	768,267	596,076	172,191
		サービス活動外費用計 (5)	768,267	596,076	172,191
	サービス活動外増減差額 (6) ＝ (4) － (5)		10,395,595	3,532,670	6,862,925
経常増減差額 (7) ＝ (3) ＋ (6)			31,721,492	47,083,984	-15,362,492
特別増減の部	収益	固定資産売却益	133,298		133,298
		その他の特別収益	1,413,325	516,716	896,609
		特別収益計 (8)	1,546,623	516,716	1,029,907
	費用	固定資産売却損・処分損		1	-1
		特別費用計 (9)		1	-1
	特別増減差額 (10) ＝ (8) － (9)		1,546,623	516,715	1,029,908
当期活動増減差額 (11) ＝ (7) ＋ (10)			33,268,115	47,600,699	-14,332,584
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		573,276,812	525,676,113	47,600,699
	当期末繰越活動増減差額 (13) ＝ (11) ＋ (12)		606,544,927	573,276,812	33,268,115
	基本金取崩額 (14)				
	その他の積立金取崩額 (15)		50,000,000		50,000,000
	その他の積立金積立額 (16)				
	次期繰越活動増減差額 (17) ＝ (13) ＋ (14) ＋ (15) － (16)		656,544,927	573,276,812	83,268,115

第57回　明光祭 H29.10.29

アトラクションの「ブロッサム」さんの演奏です。利用者も歌に合わせて踊っていました。

アトラクションの静岡女子高等学校和太鼓部の演奏です。

初めてのツインメッセ静岡での開催です。沢山の方にご来場頂き、大賑わいです。

平成30年度事業計画

理事長　寺田千尋

社会福祉法の改正に伴い、全国の社会福祉法人が目標とする必須事項は次の通りである。

(1)【法人ガバナンスの確立】
(2)【財務規律の確立】
(3)【コンプライアンスの確立】
(4)【人材の確保とキャリアパス計画に基づく人材の育成】
(5)【働き方改革への対応】
(6)【第三者評価の受審】

1. 法人ガバナンスの強化について

(1) 法人ガバナンス強化のために、会長出席の元、定例執行役員会、幹部会議を毎月行う。

(2) 各決裁書類を権限者決裁に対し行い、業務管理体制の確立、決裁事項の明確化を図る。

(3) 情報伝達を俊敏に行うため、理事・幹部の予定管理、緊急時対応等に対し、スマートフォンやアプリを使い効率化を図る。

2. 施設・事業所経営の強化

(1) 福祉型障害児入所施設　安倍学園・障害者支援施設　ルーチェ仰陽

①定員充足と定員見直しを計り、安定した経営を計る。

②安倍学園は特別支援学校に通学するのが困難な周辺市町村から、契約児童を主として、募集体制に入る。

③ルーチェ仰陽の定員の見直しを検討する。

④ルーチェ仰陽の通所利用者は新築した4号館を利用する。

(2) 就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所　けやきワークセンター
就労継続支援B型事業所　安倍野工房

①定員充足を計る。

②A型事業所ヴェルデあべのの定員充足を計る。給与の財源となる下請けの業務の拡大を図る。

A型事業所も一般就労に向けての取り組みをする。新規事業で、静岡県の総合庁舎内に食堂を開店させた。一般就労へのステップアップの場として提供したい。

③安倍野工房は、業務の拡大と利用者のA型事業所及び一般就労に向けての取り組みをする。

(3) 生活介護事業所　ヴィヴァーチェあしくぼ、就労継続支援B型事業所　フォルテあしくぼ

・ヴィヴァーチェあしくぼ

①作業種目を増やし、工賃向上を計る。

②目標である月額3、000円に向けて年次計画を立て、実現を図る。

・フォルテあしくぼ

③パンの製造を見直し、新商品の開発や販売個数のアップを図る。

(4) 共同生活援助事業所　ファミィーユさんあい

①定員の充足を計り、老人関係施設への転居を活発化する。年齢と体力を考え、利用者にとって、望ましい生活環境を提供する。

②新設でグループホームを2棟建設予定。郊外ではなく、市街地に近いところで、就労者が使いやすいグループホームを目指す。

(5) 静岡市障害者等相談支援事業、静岡県高次脳機能障害支援普及事業
特定相談事業所、障害児相談事業所、一般相談事業所　サポートセンターコンパス北斗
障害者就業・生活支援センター（雇用安定等事業・生活安定等事業）さつき

・サポートセンターコンパス北斗

①計画相談は今後増加し続けるので、需要に応じられるために、相談員の増員が必要となる。

②個別に対応できるよう、市街地に近いところで、相談やケース会議の開催ができるようにする。

・さつき

①定着支援担当相談員の増員が必要である。

②個別に対応できるよう、市街地に近いところで、相談やケース会議の開催ができるようにする。

3. コンプライアンスを推進するために、諸規程の見直しと諸規程の整合性を計る。

4. 人材の育成

(1) 人材育成のため、資格取得の奨励をする。

(2) 職員個人ごとの支援計画を策定し、面談等の実施を行い、具体的な育成プログラムを実施する。

(3) 人材育成、職場定着のためには、国家資格取得を中心としたキャリアパス計画が必要である。職員一人一人のきめの細かい研修体制と資格取得のための支援体制。

(3) 本会独自の退職金積み立ての継続。

5. 施設整備

(1) 安全な施設を維持するために、静岡市都市局建築部建築指導課指導係からの特殊建築物【建築物・建築設備】の定期検査報告結果により是正を行う。

(2) グループホーム1棟新築工事（第8欅寮）平成29年度から継続工事

(3) 高圧電力装置交換工事。

(4) ルーチェ仰陽本館男子棟職員休憩室切断工事。

(5) 旧ルーチェ仰陽職員室改修工事。（職員休憩室への改修）

(6) 地域グループホーム2棟備品等購入。

(7) 本部舗装工事。（中長期計画）

(8) 入所棟屋上防水工事。（中長期計画）

(9) 明光会館建設のための準備。（中長期計画）

6. 公益事業の推進

(1) 【地域貢献事業】

・トリクルを活用した独居老人、老人世帯の無償除草作業の提供

・当会の管財課員による建具の小修理、棚等の制作等（材料代は負担して頂く）

内容：老人世帯の草刈り、除草は体力的にも相当な負担であることが、古紙回収事業トリクルによる報告で明らかである。除草希望世帯を周辺町内会に呼びかけ、申し込んでいただく。

対象	老人世帯	地域 静岡市葵区・駿河区
費用	無償	
予算	1月 約二〇〇、〇〇〇円	年間 二、四〇〇、〇〇〇円
担当	管財課 望月智明	安倍野工房 ヴェルデあべの

成果の公表	①トリクル時にチラシを配布 ②スーパー等の店舗にチラシを掲示させて頂き、募集する。 ③法人所有車両へのチラシの掲示 ①法人ホームページ②広報誌「あべのたより」

(2) 【生活困窮者支援事業】

新制度に於いて、社会福祉法人の社会福祉充実額の低い法人は、この事業に取り組まなければならない。当会は再投下額が3億円を超えているので、当分は取り組まなくても良いことになる。取り組む内容は、生活困窮家庭の子弟が福祉系大学あるいは福祉医療等専門学校へ進学する際の授業料等の助成を行う。100万円を限度として貸し付ける。有識者を交えた選考委員会を設置し、公正に行う。

対象	生活困窮世帯	地域 静岡市内に在住する方
予算	年間 一、〇〇〇、〇〇〇円	5名まで
担当	法人本部事務局	
応募方法	①高等学校による推薦 ②進学先（福祉系大学、専門学校）による推薦	
選考	有識者を交えた選考委員会により決定する。	
成果の公表	①法人ホームページ②広報誌「あべのたより」	

中部地区交流スポーツ大会の様子

福祉楽市の会場です。毎年大丸松坂屋様から会場を無償提供して頂き、開催できています。

愛護ギャラリー展で入賞した「プラモデルドック」です。プラモデルの廃材で作製しました。

■支援心得

平成３０年３月２０日
会長　寺　田　亮　一

① 知識、技術による支援より、まず利用者様に人間愛をもって接すること。
② 言葉より、行いによって示す支援をすること。
③ 常に明るい笑顔で利用者様に接し、温かい雰囲気をつくること。
④ 職員は明るく和やかな気持ちを持って、互いに助け合い協力すること。
⑤ 職員自身の行動は、利用者様の鏡、利用者様の成長発達は、職員自身を写す鏡であると心得ること。

（参考）
やってみせ、言って聞かせて、させて見せ、誉めてやらねば、人は動かじ
山本五十六 海軍大将

旭館の建設中の様子です。

平成 31 年 1 月にオープンする大岩本町グループホームの地鎮祭の様子です。

葵館の建設中の様子です。

■平成30年度法人重点目標

クオリティマネジメント	リスクマネジメント	ブランドマネジメント	人事管理
(1)サービス提供にあたり社会福祉法第七十八条（福祉サービスの質の向上）の遵守を念頭に、質向上のための試験を実施。法人全体で質の向上に努める。	(1)利用者、保護者からの苦情に真摯に向き合い、改善をする。 苦情が無いと思わず、吸い上げる仕組み作りを行う。 また、説明責任（アカウンタビリティー）を十分に行い苦情にならないようにする。	(1)本年 12 月で、58 年を迎える当法人は、県内でも屈指の歴史と実績を誇る存在である。小さなミスが大きな損害になることを肝に銘じ、不適切支援を含め、虐待行為にならないよう、職員同士の監視体制を行う。	(1)現状の人事管理制度を見直し、個人目標、部署目標、組織目標の明確化をし、それに合わせた評価を行う。目標を達成できるような評価票を活用する。
(2)利用者・保護者から傾聴、満足度調査を行い、改善に努める。	(2)リスクマネジメントは起きてからでは遅いので、予見能力を身につけるための研修を実施。また、インシデントレポートの検証を行い、二度と起こさない体制を引き続き行う。	(2)御利用者様からの意見も苦情として捉え、苦情と同じように処理して、業務改善につなげていきたい。	(2)多様な働き方を支援する仕組みづくりを考え、対応していく。それに合わせた給与体系の仕組みも併せて行う。また、求人票の記載方法も併せて検討したい。
(3)専門職としての知識・技術向上策として、各種研修会や技術講習会を行う。	(3)様々な情報を取り扱いするため、情報管理等の徹底をする。AI を活用できる部分においては、検討し導入していく。	(3)各職員に、個別対応の育成計画を作成し、質の向上や、モチベーションの維持に活用していく。	(3)職員のモチベーション高揚策として、気づきや動機付けを行い、日々の業務につなげていきたい。

(1)障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による機能別新事業の円滑な事業運営を目指す。	①個別支援会議により、アセスメント・モニタリング・個別支援計画の作成会議の通例化を図る。措置児童に対しても個別支援計画を立てる。 ②各事業の法令及び基準等を把握し、問題点等の把握及び改善目標の設定準備をする。
(2)法人内各事業を活かした連携の強化 保護者会及び参観会・集客目的の事業所見学会の機会を増やし、事業所紹介、成年後見制度や権利擁護事業、虐待防止、性教育、就労問題、健康相談等について、外部講師も含めたスタッフによる講演会及び研修会等を開催し、相談等の支援を広めていく。	
(3)法令遵守（コンプライアンス）に努める。ホームページの内容の充実を図り、活用し、説明責任（アカウンタビリティー）を果たし、各部署統御（コーポレートガバナンス）を確実に推進し、更に入所部門の統括を図る。苦情・要望対応、個人情報保護の体制強化を徹底する。	
(4)事業の執行体制の刷新	①安倍学園・ルーチェ仰陽・ファミィーユさんあいの統括勤務体制を策定し、ファミィーユさんあいの夜間体制の実現等、円滑化を図る。 ②良質な福祉サービスの提供を目指す、労務管理体制の改善。 ③非正規職員の積極的導入。 ④外国人労働者の導入。

⑸事業の見直しと運営の効率化	①幹部職員の意識改革及び厳正な評価、職員資質及び実践力の向上（業務標準化マニュアルの作成）、人材育成（職員研修計画の策定及び実施）、法人外部からの人材導入を積極的に行う。 ②経費の削減、経営の効率化、支出単価の見直し（業務見直しにより、具体的方法の決定及び実行）。 ③諸記録等、重複文書の見直し、簡素化。 ④施設行事等の実施方法、年間計画の実施。 ⑤各職員への情報周知の徹底。
⑹看護師、管理栄養士、栄養士、調理師による利用者の健康管理（体重管理、栄養管理、病状による献立の検討）など栄養ケアマネージメントの推進。	
⑺産業医による職員の健康管理の充実、職員研修会（感染症予防、メンタルヘルス、メタボリックシンドローム予防等）の実施。	今年度は、ストレスチェック導入にもなる。計画的に進めていく。
⑻利用者の地域での自立を図るため、静岡保健福祉圏域等の関係機関、団体とのネットワークづくりを図る。	
⑼就労移行支援事業所、就労継続支援Ａ型事業所「けやきワークセンター」の強化 就労率の高い（84.6％：平成 27 年度）けやきワークセンターの利用者の中には、対人関係の不器用さから就労継続支援Ａ型事業の開設を望む声が多くなり、平成 27 年度に多機能型としてスタートした。今後の状況により、就労継続支援Ａ型事業所（定員 20 名）を目指す。 平成 30 年 4 月から静岡総合庁舎地下食堂の運営を明光会が受託し、就労継続支援Ａ型事業所に運営を委託する。現在の法人委託作業に加えて、働く場が増える。 また、新サービスの定着支援サービスについても随時行えるよう準備を進める。	
⑽障障害者就労モデル事業『喫茶ぴあ～』の業務受託	13 年間に渡り、静岡県社会福祉協議会が受託運営していたが、業績不振で、平成 22 年に始めて公募となり、平成 30 年度も受託が決定した。

自動車総連様より招待され 11 月に静岡市北部体育館で行われました。

静岡市内より多くの事業所が参加し、交流を深めることが出来ました。

自動車総連様のスタッフの協力を得て、楽しい時間を過すことが出来ました。

平成30年度 幹部の抱負

常務理事
法人本部事務局長
サポートセンターコンパス北斗所長
飯塚友紀

今年度は、「成果を出す」ことを目標に日々努めています。

法人の業務としては、人財の確保、定着に向けた対策を講じ、複数年かけても目標が達成できるようにしていきたいと思います。明光会は障害者の方、高齢者の方が大活躍して下さっています。今後も多くの方に働いて頂き、ご利用者の方への支援が更に行き届くようにしたいと思います。そのために、多くの職員を受け入れるための規程整備、マニュアル整備、キャリアパスの策定を行います。

また拝命している静岡市障害者自立支援協議会の委員としては、相談支援部会の設置に携わることができました。これは静岡市の特定相談・障害児相談事業の現状打破をする部会となります。期待が高い部会だけに、成果を出せるよう役割を果たしていく所存です。これも相談員がご利用者の相談にしっかりと向き合い、可能な選択をしっかり提示できる相談員の質の向上につながります。

仕事は全てがつながっています。そのつながりが、普段の業務に反映され、業務の効率化・合理化が図られ、職員の意識向上、ご利用者の満足度向上につながるように努めたいと思います。

人権権利を守る

コンプライアンス・第三者評価担当理事
ファミィーユさんあい所長
兼サービス管理責任者
望月志保

創立五十八年目に、法人初めて木造新築のグループホームが建設されました。男女混合型の棟で、家族で暮らせる家族室が一部屋あります。入所施設で行っている短期入所の利用日数も、最高で百八十日という期限が設けられ、ますますグループホームの利用の相談が増えてきています。

親亡き後、残された子どものことを按じ、グループホームの利用を検討されるケースも増えてきています。

また、市街地にグループホームを二棟建設中です。障害がある方も、もともとは地域で生活していた方たちですが、地域の人達は施設に生活している人たちのこと、障害について、知らないことが多いことを知りました。ユニバーサルデザインや、福祉に優しい街作りなどの言葉は多く聞かれますが、障害に対する理解は私たちが想像する以上に理解されていないことも分かりました。

障害があっても、なくても、地域で生活する権利があります。家族、地域の人たちと、共存しながら、自分らしく、楽しく一人一人が輝いて、生活していけるような場やサービスを明光会が提供していけるよう、コンプライアンスを守り、誠実に職務を遂行していきたいと思います。

コンプライアンス・第三者評価担当理事
ヴィヴァーチェあしくぼ
所長兼サービス管理責任者
降矢章治

平成30年度の抱負は平成29年度に達成できなかった「月平均3、000円の工賃の達成」にチャレンジです。ただ金額的な達成ではなく、ご利用者様の心身の状況や意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえて行うように努めていきたいと思います。

平成29年度後期に、委託作業の新規企業の開拓を行い、作業単価の見直しから新規作業導入を検討しました。新しい作業に戸惑うご利用者様もおりましたが、殆どのご利用者様が興味を示し、新しい作業で達成する喜びを感じて頂いています。作業の種類を増やすことにより、ご利用者様個々のレベルにあった様々な作業工程の提供が出来、役割を与えることで集中して作業に取り組むことが出来ます。「毎日自分の役割がある」ということはとても大切なことだと思います。作業を行うにあたり、生活道徳、作業技術の習得から、手応えや責任感を感じられ、生産活動の場が事業所内で終わらず、地域社会と繋がり社会貢献になっていきます。地域イベントにも積極的に参加をして法人、事業所の取り組み、ご利用者様の出来ることを発信し「一億総活躍社会」の実現に取り組んでいきたいと思います。

また、生産活動だけでなく、創作的活動、身辺支援、運動支援、法人行事、お楽しみ会等、豊富な日課で充実した時間の提供を行いたいと思います。

平成30年度もご利用者、ご家庭の思いを尊重した個別支援計画を作成し、お一人お一人がどのような生活を送りたいのかを職員一同、声を伺い、言葉に出来ない思いを感じ取り、共感をもって寄り添い、皆で考え実現に向けてサービスを提供していきたいと思います。

理事
法人本部事務主任
吉澤洋子

今年度法人の経営標語は、活機応変です。活機応変とは、チャンスを活かして、変化に応じるという事です。

毎日起きる出来事に対しマイナスと感じるかプラスと感じるかは、自分次第の気持ちだと思います。

私もすべての出来事をチャンスと思えるプラスの気持ちでいる事と、チャンスを無駄にする事なく活かしていけるように受け身ではなく行動をしていく事を今年度の目標として頑張って取り組んでいきたいと思います。

さつき所長
中村文久

障害者就業・生活支援センターは圏域で唯一の就業と生活の支援を一体的に行うセンターです。圏域内の障害者雇用を推進する役割があるのでさつきでも今後は個別支援を行いつつ軸足を圏域内の就労支援体制の構築に軸足を移していきたいと思います。

今年度の新しい取り組みとして市内の就労移行支援事業所と企業が直接情報交換できる場として「就フェス」を静岡市役所で行い29社の参加がありました。圏域内では初の試みです。また職場での定着を高めるために「5時からサロン」を始めています。気軽に勤め帰りに立ち寄って話をする場所として活用して貰えるよう企業にも伝えています。最近は就労支援にもチーム支援という視点が取り入れられるようになり他の就労支援機関との連携が欠かせなくなりました。他の支援機関と圏域内での支援体制を早く作ることがセンターの役割であると考えています。そのためにも日々の活動は、法令を遵守して行い信頼を損なうことがないように仕事を進めていきたいと思います。私自身も自分の行動を振り返り自分を律するとともに個々の相談員の能力を最大限に発揮させることができるようにきちんと管理できるようにしたいと思います。

フォルテあしくぼ所長兼
サービス管理責任者
梅下茂典

フォルテあしくぼ（就労継続支援B型事業所）の単独化としてスタートをして5年目パン工房あしくぼは10年目を迎えました。フォルテあしくぼの作業は請負作業として「プラモデルの袋詰め」「建築資材の組み立て・梱包」「椎茸の袋詰め」今年度、新たに「チャオちゅ～るの袋詰め」が加わりました。施設外授産として地域常設店「パン工房あしくぼ」の運営、つばさ静岡の洗濯作業の実施。地域貢献事業カリトルくんを行います。

イベントへの参加は「郷島煙火大会」「第56回静岡夏祭り夜店市」「わハハ」等、地域のお祭りは「足久保さくら祭り」「足久保七夕祭り」「足久保夏祭り」に参加させて頂きパンや富士の白雪アイス・お茶やジャム、販売自主製品を販売しました。

パン販売についてはオールしずおかベストコミュニティー主催の静岡県授産製品ブランド化推進事業にエントリーし「あしくぼあんデニッシュ」ブランドとして受賞し東京ビックサイトで行われたギフトショーや伊勢丹の授産品販売会等に出品する事が出来ました。

今年度についてもオールしずおかベストコミュニティー主催の静岡県授産製品コンクール並びにブランド化推進事業にエントリーし受賞出来るよう努力していきたいと思います。

また平成29年度の平均工賃は20、745円でしたが就労継続支援B型に係る基本報酬の算定基準については平均工賃月額が2万円以上2万5千円未満の所に入る事が出来ました。

今年については2万5千円以上3万円以上未満の所に入る事が出来るよう利用者様に合った作業を取り入れる等、工夫しながら取り組みたいと思います。

今年度は新商品の開発、新しいイベントへの参加、地域貢献事業カリトルくんの強化と共に地域の協力を得ながら、お茶や野菜等を仕入れや防災用品の仕入れを行い工賃向上に取り組み、御利用者様に事故の無いようにまた、実績を残せるように一生懸命取り組んで行きたいと思います。

安倍野工房所長兼サービス
管理責任者
松野広之

安倍野工房では現在、法人の委託作業である、「清掃」、「洗濯」、「園内整備」、「ワックス掛け」の各作業と、法人の地域貢献事業「除草作業（カリトルくん）」、「優先調達による、公共場所の除草作業」、「故紙回収」、ティーパックの袋詰め等の「請負作業」、梅干し、キムチ、漬物などの「自主製品」の製造、販売、ブルーベリー・ミカンの

摘果作業と数多くの作業を行っています。
請負作業では、企業の方にも評価して戴き、作業受注量が増えております。また、法人の地域貢献事業である除草作業「カリトルくん」では、丁寧な作業を心がけ、ご依頼された多くの方々にご満足頂いております。農福連携の取り組みとして、地域の園芸会社様にご協力頂き、ブルーベリーやミカンの摘果作業も行うことが出来ています。
このような取り組みの結果、昨年度は、平均工賃が工賃向上計画に示した目標工賃である23,000円を上回る事が出来ました。
今年度も、コンプライアンスの遵守を念頭に置き、昨年以上に作業の種類を増やし、ご利用者お一人お一人の作業習熟度を高める事を意識し、ご利用者の平均工賃25,000円以上を目指すと共に、就労移行支援事業所へ移行される方を増やす事を目標に、職員一丸となって支援を行っていきたいと思います。

選んでもらえる施設づくりを目指して

ルーチェ仰陽生活支援課長
兼サービス管理責任者
松野　愛

「はたして、利用者は満足をしているのだろうか。」
4月より、ルーチェ仰陽の活動を作業班と工芸班、園芸班の三つに分け、各グループの目標のもと、取り組みをスタートした。
「園芸班」は土づくりから始まり、農作物を育て、収穫した野菜を売って工賃にしている。また、秋には収穫した野菜を使って調理を行う予定である。
「工芸班」は陶芸や織物、絵画などの作品作りを行い、販売して工賃にしている。
「作業班」は下請け作業を中心に、毎月の工賃支給を目指して取り組み始めた。
どの班に所属をしたいか選択をして活動に取り組みスタートして半年。利用者から、班で工場見学に行きたい、旅行に行きたいとの要望が次から次へと出てきて、だんだんと活動への意欲が高まってきているのを感じている。
制度が変わっていく中で、一般企業でも福祉の事業を展開できる現代。年々多くの事業所が増え続けている現代。利用される方は、そのたくさんの事業所の中から、自分の望む生活をするために、事業所を選択している。その時に「ルーチェに通いたい」と選んでもらえる施設を目指すために、今年は土台作りと思っている。
「ルーチェ」とは、イタリア語で【光】「輝き」。たくさんの事業所の中から見つけてもらえるよう、他と違う輝きを放てる施設を目指していくためにも、日々「はたして利用者は満足しているのだろうか」と常に問いかけ、現状で満足することなく、進化し続けられるよう発展させていきたい。

けやきワークセンター就労
支援係長兼サービス管理責
任者
藁品　啓

けやきワークセンターは今年で創設20周年を迎えました。平成10年に静岡県の委託事業として開設してから200名以上の就労者を輩出し、現在も毎年10名程の就労者を社会に送り出しています。一億総活躍の時代、障害を抱えた方々も企業にとって重要な戦力として考えられるようになってきました。しかしながら、様々な課題により働きたくても働けない、どうやって自分に合った仕事を見つけて良いかわからないといった方がけやきワークセンターに相談に来られます。私たちはそのような方々と働く場を結ぶ懸け橋となり、関わる全ての人が幸せになれることを目指して支援しています。
今年度は新たに、就労定着支援事業がスタートします。これは、就職された方が一日でも永く職場で活躍出来るようにサポートしていくものです。けやきワークセンターに求められる役割は益々大きくなると感じているので、その期待に応えられるよう職員一丸となり努力致します。
就労継続支援A型事業所ヴェルデあべのは、創設4年目となりました。法人本部で就労されているご利用者は、入所施設の洗濯や清掃業務等、入所利用者様の生活を支える役割を担い、必要とされる存在として活躍しています。また、今年4月には静岡県総合庁舎地下1階にSouthぴあ～がオープンしました。ここでは、食堂や喫茶、授産品の販売をしています。ご利用者は注文の受付、調理補助、食器洗浄などの仕事を行っています。徐々に仕事にも慣れ、笑顔で接客が出来るようになってきました。ヴェルデあべのでの仕事を通して、一人一人がやりがいを感じ、そして生きがいへと繋がっていくよう支援していきたいと思います。

健康づくり推進センター
主任看護師
野田　智佐子

健康づくり推進センターは、利用者様の健康と、職員の健康をサポートする部署です。

利用者様に関しては、日々のバイタルチェックから、けがの処置、通院支援、健康診断の準備・実施・結果把握まで、また嘱託医健診の介助など、年間を通じ様々な事で関わらせて頂いています。その中で、利用者様の変化をいち早く察知できるかが大切だと考えております。今までも現場の職員と連携し、いつもと違う「歩き方」「しゃべり方」「食事の仕方」などから、大きな病気を発見したり、未然に防いだりすることが出来ています。今年度も利用者様との関わりの中で、気付きを大切にしていきたいと思います。

また職員に関しては、職員それぞれがベストの体調で仕事に臨めるように、受診を勧めたり、健康相談にのったりしております。人は体と心が整ってこそ持っている力を発揮することができると思います。一人一人の職員が利用者様に良い支援を提供できるように、陰ながらサポートしていきたいと思います。

今年度の抱負

サポートセンターコンパス北斗
相談支援主任
石田　孝祐

私の今年度の抱負は、機敏に行動し、利用者様の自己実現を目指し、信頼される相談員になることです。

現在、相談員として数多くのご相談を受けさせていただいております。一つ一つの相談に対して、しっかりと耳を傾け、そして丁寧に対応させていただくことは日頃から大切にしていることであります。しかしながら、迅速な対応を求められることも多くあります。できるだけ早く利用者様のニーズを把握して、対応するということも信頼へとつながると思っております。迅速な対応をするには、いかに早く変化に気付くか、さらにサービスや制度についてどのくらい知っているかが重要になってくると考えております。

今後は、面談や訪問時の利用者様の変化に気付けるように、感性を磨いていくことと、目まぐるしく変わる制度についての情報をいち早くキャッチできるように日々努力していきたいと思います。

安倍学園
主任保育士
児童発達管理責任者
内藤　洋子

私の今年度の抱負は、気付き、考える、行動するこの三点です。

仕事を始め、今年で20年目となり、経験を積んだことで気づけなくなったこと、多方面での考え方が出来なくなってきていることもあると思います。私は同じであっても、関わる児童も毎年変わり、成長し巣立ち、また新たな児童を迎える。制度上の変化や学校や環境の変化、様々な事が目まぐるしく変化します。

この変化に置いて行かれず、一番に気付き色々な方向性を考え提案し話し合い、実践できるよう、そして、職員全員で活気ある職場作りをしていきたいと思います。

私ごとですが、昨年は、自分の人生の中での転機も迎えました。このことが今の自分の考えや仕事への取り組む姿勢に新しい考えを持つことが出来るきっかけとなったと思います。

年齢に負けず、今できる事を着実に行い、改善できることは改善し、日々努力できるようにしていきたいと思います。

● 明　光　会　特　集 ●

■安倍学園■

安倍学園は、幼稚園から高等部までの児童が学校に通いながら入所しています。
安倍学園の活動では、生徒会に全員が参加し、安倍学園での生活について、ルールや係、行事の企画について話し合いをしています。月に１回の環境美化活動としての草取りも子供たちが率先して行っています。
余暇活動として、ダンス教室、和太鼓教室が毎月１から２回あり、外部講師の先生が来て子供たちに教えていただいています。
和太鼓教室は毎年３回ネオパーサで行うジュニア和太鼓フェスティバル、浅間神社の廿日祭に参加しています。
将来、自分たちで自活した生活のために、調理実習も定期的に行っています。
長期休みには、バーベキューやプール、旅行、買い物といろいろな社会資源を活用した外出を計画し取り組んでいます。

■ヴィヴァーチェあしくぼ■

お楽しみ会

平成 30 年 6 月 7 日（木）、静岡市内にある静活ボウリングとはあといん魚勝に行ってきました。みなさんボウリングを楽しみにしていて移動車の中でも会話が弾んでいました。
はあといん魚勝では食事の後にはカラオケを行い会を楽しみました。

作業の様子

作業学習として日課に作業を取り入れています。正確に作業ができる、集中して作業できる、材料が無くなったら報告が出来ると利用者にあった目標を個別支援計画に設定をしています。作業を行い工賃をもらえる事をみなさん楽しみにしています。

お誕生日会

毎月一度にお誕生日会を行っています。創作的活動で季節の壁面を作ったり、調理でうどんやお蕎麦を皆で作り、みなさん毎月のお誕生日会を楽しみにしています。

■ルーチェ仰陽■

平成 30 年度、ルーチェ仰陽は活動の充実を目標に、園芸班、工芸班、作業班の三つのグループにわけ、グループごとの取り組みを始めました。

園芸班

体力づくりのほかに、野菜や花を作って販売しています。春先には土づくりをおこない、野菜を植える準備をしました。種をまき、水を与え、野菜を育てていき、収穫できた時には、とてもうれしかったです。また、収穫した野菜を作品展示即売会にて販売もしました。
今後は、収穫した野菜を使って料理作りができるようにしていきたいです。

工芸班

年間を通して、作品作りに挑戦しています。クラフトや陶芸などに取り組み、作品をコツコツ仕上げていき、販売をしています。
また、施設の壁面づくりを担当し、季節の絵や貼り絵を月ごとに飾っています。

作業班

リサイクル活動と下請け作業を中心に活動を行っています。
毎月の工賃支給を目標に取り組めています。

利用者様が通ってきて楽しいという施設を目指し、一人ひとりの希望と思いに寄り添った支援を目指しています。

■安倍野工房■

一泊旅行

平成 30 年 7 月 12 日（木）、13 日（金）、山梨県の石和温泉へ一泊旅行に出掛けました。道中は、氷穴やワイン工場の見学、河口湖でのラベンダー鑑賞や、花の都公園などに立ち寄り、楽しい旅行となりました。一泊旅行は毎年実施しており、ご利用者全員で話し合いを行い行き先を決めています。今年度は、日頃の作業の疲れを癒すことを目的に決定しました。ホテルでの食事にも大満足し、また 1 年作業を頑張ろうと皆さんで話をされていました。

社会福祉法人明光會地域貢献事業
カリトルくん

社会福祉法人明光會から委託を受け、独居高齢者や要支援者のみの世帯等のご自宅での草取り作業を行っています。「細かいところまで丁寧に行ってくれ、とても綺麗になり助かりました。」と、これまでに行ってきた全ての方から評価を頂いております。

みかん狩り作業

地域の千代園芸株式会社様と連携して、みかん狩り作業を行わせて頂いております。みかんを丁寧にひとつづつ摘果する作業は根気もいりますが、参加しているご利用者は丁寧に摘果を行うことが出来ています。自然の中で楽しく作業を行わせて頂いています。

わ・ハハ販売

毎週金曜日、静岡市役所 1 階ロビーにて行われる「わ•ハハ販売」に月 1 回参加をしています。自分たちが作成した商品を直接販売できる良い機会となっています。お客様への挨拶や受け答えなど、接客業のルール、マナーを体験できる場となっています。お客様と触れ合える機会とあって、参加希望者が多いです。全員がローテーションで参加しています。

茶道教室

ご利用者の余暇活動を充実する事を目的に、茶道裏千家淡交会常任幹事の牧野宗恵先生をお招きし、毎月 2 回、安倍野工房の和室にて開催しています。落ち着いた雰囲気の中で茶道の作法を学んでいます。毎年開催される法人創立記念祭「明光祭」でお点前の披露を行えるため、皆さん集中して参加されています。また、教室に参加された後は、とても穏やかに作業に取り組むことが出来ています。

■フォルテあしくぼ■

お楽しみ会

平成 30 年 6 月 7 日（木）、静岡市内にある静活ボウリングとはあといん魚勝に行ってきました。みなさんボウリングを楽しみにしていて移動車の中でも会話が弾んでいました。
はあといん魚勝では食事の後にカラオケを行い中には一緒に踊ったりしている方もいてとても楽しんでいました。

作業の様子

今年度から新しい作業にも取り組み工賃向上に向け作業量も増え毎日みなさん作業に頑張って取り組む事が出来ています。毎月に一度ある工賃支給式はみなさんとても楽しみにしています。

地域貢献事業　カリトルくん

2 年目になるカリトルくんは、主に一般家庭にお邪魔させていただき活動を進めています。
独居老人宅に行き、お年寄りでは出来ない除草作業やガラス拭き、電気の交換等、行います。
作業が終わると、「普段出来ないからとても助かります。ありがとう。」と言って下さる人が多く、その言葉で利用者さんも喜んでいます。これからも多くの家を周り活動を続けて行きたいと思います。

■サポートセンター　コンパス北斗■

障害児等療育支援事業では、障害児の通う保育所や幼稚園、こども園、放課後等デイサービス、児童発達支援施設等の職員の療育技術の向上をめざし、職員研修会を定期的に開催致しております。

平成 30 年 9 月には、医療法人社団リラ　溝口病院　院長寺田修先生を講師にお迎えし、「行動障害とＢＰＳＤを考える～幼少期から老年期までつながる（愛着と関わり）～」というテーマで開催致しました。

■けやきワークセンター■

合同就職面接会

平成 30 年 9 月 14 日（金）、グランシップで行われた障害者合同就職面接会に参加しました。それぞれ訓練生が希望する企業の面接を受け、内１名が採用に繋がることが出来ました。ハローワーク等の関係機関との連携を今後も強め、訓練生の就労に繋げていきたいと思います。

事業所見学会（(株）日立産機システム）

平成 29 年 6 月 22 日（木）、清水区村松にある株式会社日立産機システム様を訪問させて頂きました。最初に日立産機システム様での事業内容や取り組みについてのご説明を頂き、その後事業所内を見学させて頂きました。見学時は静かに落ち着いて行動することが出来、時折質問する姿なども見られ関心を持ち見学することが出来ました。最後は質疑応答の時間を頂き、訓練生、職員それぞれ気になった事等を質問しました。「確認」「整理整頓」「作業効率」等の、どの仕事においても必要となるキーワードについて実際の仕事を見学させて頂く中で理解を深めることが出来ました。

忘年会

平成 29 年 12 月 19 日（火）、けやきワークセンターとヴェルデあべの合同での忘年会を行いました。
利用者には就職後の新年会や忘年会、その他集まりがあった時の立ち振る舞い方、場に応じた服装に気を付けることが出来るためのものであることを伝え、ただ楽しいだけではなく目的意識をもって参加してもらいました。午前に行ったボーリングでは、参加賞や上位 2 名までの景品を用意したこともあり大変盛り上がりました。過度にはしゃぎすぎないことや景品がもらえなくても会に参加している一員として場の雰囲気を崩さないことも伝えました。
昼食は利用者からのリクエストもあり、お好み焼き本舗静岡瀬名店にて食事をとりました。職員、利用者ともに今年一年の訓練や行事等について振り返り、来年はどのような年にしていきたいか等話をしました。食べ放題のメニューでしたが、食べ過ぎて体調を悪くする方もいませんでした。仕事の付き合いとして参加する会の雰囲気を、楽しさを感じてもらえたように思います。貴重な体験の機会を頂きありがとうございました。また、来年度以降も継続して行っていきたいと思います。

初詣外出

平成30年 1 月 4 日(木)、浅間神社に毎年恒例の初詣外出に行きました。２年間という限られた期間の中で希望する職場に就職できるよう、訓練生・職員全員で祈願しました。

入社式

平成 30 年 4 月 11 日（水）、平成 30 年度入社の利用者・訓練生の入社式を行いました。けやきワークセンター訓練生は 2 年間という限られた期間の中で就職を目指さなければならず、入社式は訓練生一人一人がこれまでの振り返りとこれからの目標を再確認出来る大切な行事です。良い緊張感を保ちながら今年度の訓練に励みたいと思います。また、ヴェルデあべのご利用者にとっても雇用契約を結び、一般就労と変わらないレベルでの就労をしていくという意識を持つ良い機会となりました。会長先生の訓辞の中にもありましたように、給料を支払うに値するだけの人材となること、そして職場の中で必要な存在になれるように、職員一同日々の指導･支援にあたりたいと思います。

地域貢献事業　カリトルくん

独居高齢者や要支援者のみの世帯等の草取りを行っています。日々の訓練の成果をいかし、細かいところまできれいに行っています。これまでに行ってきた全ての方から大変ご好評を頂いております。

■ファミィーユさんあい■

全室エアコン・テレビ付き、清潔な浴室、明るい食堂等、快適な生活が保証されます。
グループホームの１室が職員室になっており、支援の手が行き届くようにしています。
平成 30 年 7 月 1 日に第 8 欅寮が開所しました。
御利用者は、職場、就労移行支援事業所、就労継続支援 A 型事業所、就労継続支援 B 型事業所、生活介護事業所へと通っています。
栄養士による栄養バランスがとれたおいしい食事を希望者に提供しています。
また、自立に向けた調理実習、買い物支援、外出支援も行っています。
ファミィーユさんあい交流会を毎月行っています。
自分たちで話し合い、交流を深めるためのハロウィンパーティーやクリスマス会、新年会などの催しを開催したり、交通ルールや防災についての話し合いも行っています。
平成 31 年 1 月大岩本町にグループホームが 2 棟完成します。
閑静な住宅地で落ち着いた環境、公共交通機関も充実しており、利便性が良く、職場への通勤、余暇外出がとても便利になります。

■調理■

調理では皆様に喜んでいただけるよう、安心安全に努めながら食事提供をさせて頂いています。

（行事食）
ひな祭りには写真のようなちらし寿司をメインとしたお食事としました。
その他、こどもの日、七夕、敬老の日、ハロウィン、クリスマス等の行事食を展開しています。

（郷土料理）
様々な地域の食文化を感じられる郷土料理を月１回、献立に取り入れています。普段の食事とは違った料理を楽しんで頂き、その土地に旅行に行った気分になって頂けるよう、献立を立てたり、料理を作る私達も楽しんで調理をしています。

■健康づくり推進センター■

血圧測定

ルーチェ仰陽の方の血圧測定をしています。血圧の薬を服用している方は、１日３回計測しますので、朝、晩は現場の職員が計測し、結果を共有します。

点眼

白内障やドライアイ等で毎日点眼が必要な方の点眼を行います。

■チャオバンビーニ■

チャオバンビーニでは、四季折々の活動を行っています。
ハロウィンでは可愛い仮装スタイルで各部署の職員からお菓子を頂きました。
平成 29 年度は年長児向けに「ホットケーキを作ろう！」とし、ホットプレートでホットケーキを作りました。みんなの大好物で、好きなトッピングを楽しみました。
ご家族からも「お手伝いをしてくれるようになった」等の好評を得ましたので、今後も年齢に合わせた保育を行っていきたいと思います。

■支援センターさつき■

障害者就業・生活支援センターさつきの取り組み

国、県の委託を受けて障害者の就業（仕事）と生活の相談支援を行っています。
所長の他、相談員 5 名で 4,000 件を超える相談に乗っています。
取り組みのいくつかをご紹介します。

5 時からサロン

毎月第 2 水曜日、午後 5 時～午後 8 時に県障害者働く幸せ創出センター（5 風来館 4F）にて開催しています。
コンセプトは「誰でも勤め帰りにふらっと寄ることができる場所で自由におしゃべりする」です。対象は一般企業に勤務している人でおしゃべりしたい人です。
出入り自由、事前予約不要。相談員 2 名で対応しています。

就フェス

今年 7 月 27 日に静岡市役所 17F 会議室にて開催しました。
静岡市障害者自立支援協議会就労支援部会の主催ですがさつきが中心的な役割を果たしました。静岡市内の就労移行支援事業所と静岡市内の障害者雇用を考えている企業との交流を図る目的で行いました。
市内の就労移行支援事業所がそれぞれブースを設け企業の採用担当者がそのブースで採用の相談や事業所の説明を受ける形式で 29 社の採用担当者がブースを訪れ熱心に説明を聞く光景が見られました。静岡圏域では初めての試みであり新聞報道もされたので障害者雇用について関心も高まったと思います。

平成 30 年度第 1 回在職登録者交流会

新規相談者の就労アセスメント

さつきでは新規相談者には 3 回の就労アセスメントを受けてもらうようにしています。客観的な就労準備性を把握することができ適切な進路について提案できるようにしています。

■ヴェルデあべの■

大涌谷・横浜中華街　日帰り旅行

平成 30 年 3 月 9 日（金）、神奈川県にある大涌谷と横浜中華街に日帰り旅行に行きました。毎年、年度末に行く日帰り旅行を楽しみにこの一年仕事を頑張ってきました。
大涌谷では、一個食べると 7 年延命すると言われる黒たまごを食べたり、通な方の中には「冬にこそ大涌谷の真の良さがある」というほど、その圧倒される景色を楽しむ事が出来ました。また、横浜中華街ではエビチリや春巻き、中華麺等楽しみにしていた中華料理を存分に味わうことが出来ました。楽しい時間はあっという間にすぎてしまいましたが、有意義に過ごすことが出来ました。また来年の日帰り旅行を励みに、これからの一年頑張っていくことを職員、利用者同士で誓い合いました。

作業内容について

①洗車作業
法人本部で使用している 30 台以上の公用車の洗車を行っています。
車内外を手洗いで行っており、職員や利用者の皆様に気持ちよく使ってもらえるよう心を込めて丁寧に作業をしています。仕上がりのレベルの高さから、職員の自家用車も洗車して欲しいという要望も出ています。

②洗濯業務
入所施設（ルーチェ仰陽・安倍学園）のご利用者約 50 名の衣類や寝具類（枕カバー・掛けカバー・シーツ）等の洗濯業務を行っています。

③ルーチェ仰陽　布団敷き・ベッドメイク
洗濯業務で行った寝具類（枕カバー・掛けカバー・シーツ）を 1 セットとし、ルーチェ仰陽ご利用者が使用する布団やベッドを敷いて寝具類をつけていきます。気持ちよくご利用頂けるよう、シワが出ないように丁寧にかつスピーディーに行っていくことを心掛けています。

④ルーチェ仰陽　お風呂掃除・居室清掃・食堂掃除
　職員・来客用トイレ掃除
ルーチェ仰陽の清掃作業として、お風呂掃除・居室清掃・食堂掃除を行っています。
また、職員・来客用トイレ掃除も毎日行っています。

社会福祉法人　明光会

定期事業所見学会

社会福祉法人明光会の施設及び事業所の見学会を定期的に開催致します。事業所の利用をご希望の方、就職をご希望の方は、ご都合の良い日にお越し下さい。皆様のお越しをお待ちしております。

お申し込みは、電話またはFAXでお願いいたします。

見学会当日の受付は、明光会本部（住所：静岡市葵区慈悲尾180番地）で行います。
当日13：30までに明光会本部へお越しください。

開催は、第2・第4水曜日13：30～15：00です。

12月の開催は、12日・26日

1月の開催は、　9日・23日

2月の開催は、13日・27日

3月の開催は、13日・27日

（連絡先）社会福祉法人明光会　担当者　中村文久
住所：静岡市葵区慈悲尾180番地
電話番号 054－278-7005
FAX番号 054－278-7026

一緒に働きませんか？

下記の職員を募集しています。○ページ掲載の定期見学会にご参加後のご応募でも可能です。
明るく元気な方、是非一緒に働きましょう。

①生活支援員

利用者の方の日常のお世話をするお仕事です。

行事なども利用者の方と参加し、沢山の事が学べるお仕事です。

【時間帯】

・通所事業所
8：30～17：30

・入所事業所
3交代勤務

②保育士

法人内託児所で働いて頂ける保育士さんを募集中です。

【時間帯】

8：00～18：00の中で6～8時間

③事務員

明光会の縁の下の力持ちです。

入職後のフォローは丁寧にさせて頂きます。

【時間帯】

8:00～17:30の中で6～8時間

求む!!こんな人

・笑顔で挨拶がしっかりとできる方
・何事にも自分から挑戦し、スキルアップをしたい方
・人とのコミュニケーションがしっかりとでき、人と接するのが好きな方は明光会で充実した仕事を一緒にしませんか。

詳しくはこちらまで

HPアドレス　http://meikoukai.or.jp

明光会では、平成27年12月に職員向け託児所を開所しました。

『Ciao Bambini（チャオバンビーニ）』

○対象利用児年齢：生後4ヶ月～3歳

○利 用 時 間：8：30～17：30

○利　用　料：月額20,000円（給食希望）・16,000円（給食持ち込み）

日額　800円（給食希望）・　600円（給食持ち込み）

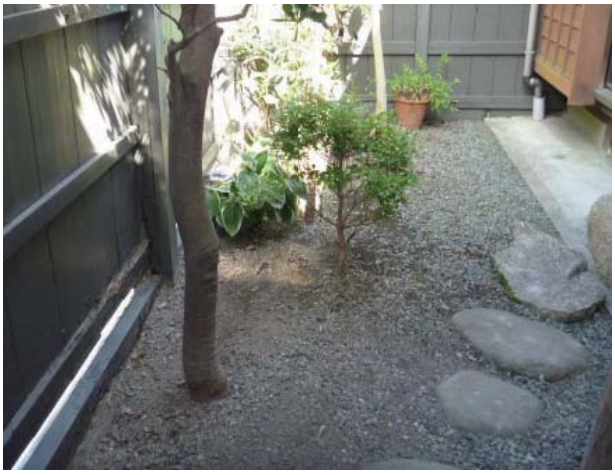
幼児便所とシャワーを用意
トイレトレーニングも行います

広々としたフロアでお過ごしいただきます

病児隔離室も用意
中には授乳が出来るようにカーテンの仕切りもあります

ご自宅のお庭の草刈り、お困りではありませんか？

ご自宅の草刈りを社会福祉法人明光会
「カリトルくん」が無償で行います。



社会福祉法人明光会は、静岡市内で昭和３５年より知的障害児者の総合支援を行っている法人です。
　平成２８年度から社会福祉法人明光会は地域貢献事業を始めました。事業内容は、**静岡市葵区、駿河区にお住まいで、満年齢が７０歳以上の世帯、または障害者手帳をお持ちの方（夫婦・独居）**を対象に、ご自宅の除草作業をお困りの方に対し、明光会が無償で除草作業を行うというものです。
草刈りは、明光会から地域貢献事業の委託を受けた、就労継続支援Ｂ型事業所「フォルテあしくぼ」、「安倍野工房」、就労移行支援事業所「けやきワークセンター」が行います。
作業日は月曜日から金曜日の１０時～１５時までとなります。
※　除草依頼が多い時期には順番となるため、ご希望日に添えない事があります。

カリトルくんにお気軽にご相談ください。

社会福祉法人明光会

静岡市葵区慈悲尾１８０

☎０５４－２７８－８５６８

カリトルくん担当：安倍野工房(松野)

受付時間　月曜日～金曜日　午前９時～午後５時

県庁喫茶ぴあ～（静岡県障害者就労モデル事業）

静岡市葵区追手町 9-6 静岡県庁東館２階：営業時間９：00-16：00

【喫茶メニュー】
○カレー○パスタ○ハンバーグ
○フレッシュジュース etc
ワンコイン500円ランチが人気！！
【授産製品販売コーナー】
○県内授産製品作成事業所 29 カ所からの受託を受けています。
お陰様でパン工房あしくぼの焼き立てパンが大人気です！！

TEL054-221-3496

South ぴあ～（静岡県職員互助会との業務委託）

静岡総合庁舎別館地下食堂　静岡市駿河区有明町 2-20

営業時間 11：30-13：30
【喫茶メニュー】
○カレー○パスタ○ハンバーグ
○コーヒーetc
・10月から日替わり定食を開始します！！
・席数が多いので大人数でご利用が出来ます！！
【授産製品販売コーナー】
○県内授産製品作成事業所 20 カ所からの受託を受けています。

TEL054-286-9295

皆様のご来店を心よりお待ちしております

社会福祉法人明光会

SELP（セルプ）とは
Suppor（支援）Enployment（就労）
Living（生活）Participation(社会参加)の
頭文字から成る造語です

ＳＥＬＰ（静岡県社会就労センター協議会）から
お茶の本場静岡で大事に育てられた、
安心で確かな品質の茶葉を使用した
「静岡のお茶です」を販売しています

「静岡のお茶です」は
「香りスッキリ、味わいしっかり」を
アルミ缶（400ｇ）に詰め込んだ
飲みやすい緑茶ドリンクです

「静岡のお茶です」の売り上げは、
障害がある方の社会参加や自立生活
の支援に役立てられています

ＪＡ静岡市は
静岡県社会就労センター協議会の
事業を応援しています

■商品名：茶の本場「静岡のお茶です」
■内容量：４００ｇアルミ缶（コールド専用）
■ご注文単位：１ケース（２４本入り）
■大量注文も承ります

■お問い合わせ先
〒421-1211
静岡市葵区慈悲尾 180 番地
社会福祉法人　明光会
ＴＥＬ　054-278-7005　ＦＡＸ　054-278-7026

平成３０年度　購入企業様

・天神屋様
・静岡済生会病院内コンビニエンスストア様
・静岡市立病院内売店様
・静岡赤十字病院内売店様
・くれたけ荘様　等々

ご好評をいただいております！！

あべのたより　第六号
社会福祉法人　明光会
二〇一八年十二月発行　二、〇〇〇部印刷
発行／社会福祉法人　明光会
静岡県静岡市葵区慈悲尾一八〇番地
〇五四―二七八―七〇〇五
制作・印刷／株式会社篠原印刷所

障がい者グループホーム

利用者募集中

葵館には、地域の方にお使い頂けるフリースペースもあります。
本部相談事業の出張所の役割も担います。

葵館外観

■毎月のご利用料金

●家　　賃	60,000 円
●食　　費	約 30,000 円
●光熱水費	13,000 円
●合　　計	103,000 円

※家賃については、国の家賃補助 10,000 円が出るかたがいます。

■住所

葵館▶静岡市葵区大岩本町 1-25
旭館▶静岡市葵区大岩本町 1-7-7

城北公園・市立中央図書館まで徒歩 5 分

JA 静岡市安東支店から南東

**最寄りのスーパー
しずてつストア長谷通り店　徒歩 5 分**

■アクセス

しずてつバス　大浜・麻機線→
最寄りのバス停「安東 1 丁目」から徒歩 2 分

入居者様　募集中！

定員 13 名
担当：望月・川村
ご利用対象者：知的障がい
まずはお気軽にご相談ください。

■設備

- スプリンクラー設備
- 防犯カメラ
- IH キッチン
- 夜間警備員配置（旭館）

安全に配慮したホームです。

社会福祉法人　明光会
静岡県静岡市葵区慈悲尾 180 番地
TEL：054-278-7005

Since1960